

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-210	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1.編修の基本方針

①古典としての古文と漢文を読む能力を養う。

- ・古典を読む能力を養うため、長短や難易などに配慮して教材を配列しました。
- ・単元構成は、古文編・漢文編の二つに分け、高等学校の指導の実態に対応できるようにしました。
- ・2か年にわたる分割履修にも対応できるように、各編をⅠ部とⅡ部の2部構成にし、段階的に総合的な国語力を養うことができるよう配慮しました。
- ・単元扉を設け、その単元での学習目標と、学習する作品や教材に関連した年表を明示しました。また、各教材末の「学習の手引き」においては、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・各編Ⅰ部の第1単元には、「確認しよう 古文読解」、「確認しよう 漢文の基礎知識」を設け、既習事項の確認ができるようにしました。

②思考力や想像力をのばし、豊かな感性や情緒をはぐくむとともに、古典についての理解や関心を深める。

- ・古典の多様な世界に触れ、古人のものの見方や感じ方、考え方をすることで、自己の内面を見つめ、考えを深めたり広げたりすることができるよう配慮して、教材を選定しました。
- ・古典に親しみ、将来にわたって主体的に学ぶ基礎を培うことができるよう、コラムや附録、QRコンテンツなどで古典の背景知識として必要な内容を解説しました。
- ・古文編Ⅰ部の最後に、「ご当地キャラクターと古典」のページを設け、郷土を愛する心の表れとしての「ご当地キャラクター」を、古典に関連させて紹介しました。
- ・古文編Ⅱ部に、「『源氏物語』—現代語訳の世界」のページを設け、世界文学の一つである『源氏物語』のさまざまな現代語訳を紹介し、古典作品を多面的な視点から理解する力を養うことができるよう配慮しました。
- ・漢文編Ⅰ部に、「項羽の人物像に迫る」のページを設け、人物評を読み比べて自分の意見をまとめ、意見を交流させることで、漢文を読み味わう楽しさが実感できるようにしました。
- ・言語文化の変遷についても理解を深められるように、さまざまな文種や形態の文章から幅広く教材を取り上げました。

③教材本文・コラム・附録などを有機的に関連させ、多様な学習に対応ができるようにする。

- ・言語活動を古文編に12か所、漢文編に10か所設け、その活動と教材本文との関連を図ることで、古典や言語文化についての理解と関心を深めることができるようにしました。
- ・コラムとして古文編では「古文の窓」(10か所)、漢文編では「漢文の窓」(8か所)を設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
- ・附録として、古文編では各種文法資料を充実させるとともに「小倉百人一首」「古文重要語句」「日本古典文学史年表」を、漢文編では「漢文句法・重要語のまとめ」「中国文学史年表」を用意し、多様な指導に対応できるようにしました。また、学習の見通しや振り返りに生かせるように、「この教科書で学ぶこと」を用意しました。
- ・巻頭・巻末には、古典の世界についての理解を深める資料を豊富に用意しました。

2.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
古文編Ⅰ部	1 説話に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の能力や生き方などについて考えることができる教材を用意しました。(第2号) ・古典作品のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号) 	→10～15ページ →16ページ
	2 随筆を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・普遍的真理や処世訓などについて述べた教材を用意しました。(第1号) 	→18～23ページ、27～28ページ
	3 作り物語を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・他者を思いやる心を描いた教材を用意しました。(第3号) ・古典の世界のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号) 	→31～35ページ →36ページ
	4 和歌の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌に詠まれた季節の景物から、自然についての考えを深めることができる教材を用意しました。(第4号) ・「歌合」のように古典和歌を読み比べる活動を通して、伝統的な言語文化に親しむことができる教材を用意しました。(第5号) 	→38～48ページ →49～50ページ
	5 日記を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との共生や周囲の人への愛情など、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号) ・自らを省みる作者の態度から、自律について考えることができる教材を用意しました。(第2号) ・古典作品のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号) 	→52～55ページ →56～60ページ →61～62ページ
	6 軍記物語を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい状況の中にある登場人物たちの姿を通し、人間の生き方について考えることができる教材を用意しました。(第3号) ・伝統と文化について理解を深めることができる教材を用意しました。(第5号) 	→64～70ページ →71～72ページ
	7 近世文学の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動から、自律と勤労について考えることができる教材を用意しました。(第2号) ・他者への思いやりを育んでいく人間のあり方に触れることができる教材を用意しました。(第3号) 	→74～76ページ →77～80ページ
	ご当地キャラクターと古典	<ul style="list-style-type: none"> ・地名やご当地キャラクターを取り上げ、郷土を愛する心について理解を深められる教材を用意しました。(第5号) 	→81～82ページ
古文編Ⅱ部	1 随筆を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や人為に対する作者の的確な表現に触れ、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号) ・古典作品のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号) 	→84～88ページ →89ページ
	2 歌物語を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との共生や周囲の人への愛情など、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号) 	→92～100ページ、101～103ページ
	3 歴史物語を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動を通して、個人を尊重し、能力を伸ばすことについて考えることのできる教材を用意しました。(第2号) ・伝統と文化について理解を深めることができる教材を用意しました。(第5号) 	→106～112ページ →113～114ページ
	4 歌話・歌論を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・古典における和歌の位置づけと、和歌に対する古人の態度について理解を深められる教材を用意しました。(第1号) ・古典作品のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号) 	→116～119ページ、121ページ →120、122ページ
	5 作り物語を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情の読み取りを通し、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号) ・古典作品のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号) 	→124～133ページ →134ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
	『源氏物語』 —現代語 訳の世界	・世界文学の一つである『源氏物語』のさまざまな現代語訳を通して、我が国の伝統と文化を尊重するとともに、国際社会の発展に寄与する態度を養う教材を用意しました。(第5号)	→135～136ページ
	6 俳諧に親しむ	・自然の景観と人間の営みについて描いた教材を用意しました。(第4号) ・古典作品のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号)	→138～145ページ →146ページ
	7 伝承の世界	・我が国の伝統と文化を尊重する態度の育成に資する教材を用意しました。(第5号) ・古典作品のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号)	→148～153ページ →154ページ
漢文編 Ⅰ部	1 故事と小話	・人口に膾炙した故事成語の典拠となる教材を用意しました。(第1号) ・日本における漢文の受容について考察を深めることができる教材・コラムを用意しました。(第5号)	→156～159ページ →160～162ページ
	2 唐詩と文	・自然の景観や季節の風物を描きながらさまざまな心情をうたった詩を用意しました。(第4号) ・理想的な社会のあり方について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→164～170ページ →171～176ページ
	3 史記を読む	・古代中国の英雄である二人の人物の生き方に触れることで、個性を認め合う心を培うことができる教材を用意しました。(第2号)	→178～190ページ、 192～195ページ
	4 中国の知恵	・人口に膾炙した故事成語の典拠となる教材を用意しました。(第1号) ・個人の職務と責任について考えることができる教材を用意しました。(第2号)	→198～202ページ →203～204ページ
	5 三国志の世界	・古代中国の傑出した人物の生き方や人間関係に触れることを通じて、信頼関係や誠実さについて考えることができる教材を用意しました。(第2号)	→206～215ページ
漢文編 Ⅱ部	1 小話を読む	・社会や政治のあり方について考えるきっかけとなる教材を用意しました。(第3号)	→218～224ページ
	2 古詩を味わう	・他者を愛し、思いやることの尊さについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→226～227ページ、 229～238ページ
	3 史記を味わう	・正義を全うすることや、他者との関わりの中で生きることの大切さについて考えるきっかけとなる教材を用意しました。(第3号)	→240～246ページ
	4 中国の思想	・幅広い知識と教養を身につけることができるよう、儒家と道家の代表的な文章を用意しました。(第1号)	→248～257ページ
	5 日本の漢詩文	・中国の文芸との関係について考察することができるよう、日本人が作ったさまざまな詩文を用意しました。(第5号)	→260～261ページ、 264～268ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 日常的に読書に親しみ教養を高めるために、『百人一首』についての鑑賞文「小倉百人一首の世界」を教材として採録し、古典作品について述べた現代の文章に興味を持つことができるようにしました。(学校教育法第51条2号)
- 22か所の「言語活動」および各教材の「学習の手引き」において、調査報告・読み比べ・話し合い・課題探究などの活動を取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-210	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1.編修上特に意を用いた点や特色

- ① **目標**…伝統的な言語文化に対する関心と理解を深め、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を育成し、社会人として求められる言語能力を身につけられるよう、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるような教材を選定し、「内容」に示された「知識及び技能」の二事項と、「思考力、判断力、表現力等」の一領域の学習が効率的・有機的に行えるようにしました。
- ② **「言葉の特徴や使い方」**…「知識及び技能」に示された「言葉の特徴や使い方」に関する事項の指導が行えるよう、教材ごとに重要語句や重要助字・句法を取り上げ、それぞれ附録に索引も用意しました。
- ③ **「我が国の言語文化」**…「知識及び技能」に示された「我が国の言語文化」に関する事項の指導が行えるよう、文語のきまり・訓読のきまりについて、読むことの学習に即して取り上げられるように配慮しました。また、「言葉の変遷を調べる」などのページでは、言葉の変化について理解を深められるようにしました。更に読書については、附録として「読書案内」を示しました。
- ④ **「A 読むこと」**…教材については、「3内容の取扱い」および「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」に示された事項に留意して選定しました。言語活動については、読解教材に関連して行えるよう教材末の設定問を工夫したり、特設ページを設けたりして示しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等 読むこと	
古文編 I 部				
1 説話に親しむ	確認しよう 古文読解	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	10
	宇治拾遺物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	12
	十訓抄	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	14
	■古文の窓1 「大江山の歌」をめぐる人々	(1)イ/ (2)ア	(1)オ・カ	16
2 随筆を読む	徒然草〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ/ (2)ア	18
	〔言語〕『徒然草』と『玉勝間』を読み比べる	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)エ、カ、ク/ (2)イ	24
	方丈記	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	27

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等 読むこと	
3作り物語を読む	竹取物語〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	30
	■古文の窓2 羽衣伝説	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	36
4和歌の世界	小倉百人一首の世界〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、ウ、カ、ク	38
	〔言語〕和歌を読み比べる —討論会形式の「歌合」	(1)イ／ (2)ア	(1)ウ、カ	49
5日記を読む	土佐日記	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ	52
	更級日記〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、オ／(2)イ	56
	■古文の窓3 日記文学 —『蜻蛉日記』と『更級日記』	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	61
6軍記物語を 味わう	平家物語〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ／ (2)エ	64
	■古文の窓4 受け継がれる『平家物語』	(1)イ／ (2)ア、エ	(1)エ	71
7近世文学の世界	世間胸算用	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	74
	おらが春	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	77
	ご当地キャラクターと古典	(1)イ／ (2)ア、ウ	(1)キ、ク	81
古文編 II部				
1随筆を味わう	枕草子	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ	84
	■古文の窓5 『枕草子』のパロディ	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)エ	89
	〔言語〕 現代版「ありがたきもの」を文語で書く	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ウ、オ、ク／ (2)ウ	90
2歌物語を楽しむ	伊勢物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	92
	大和物語〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	101
	〔言語〕言葉の変遷を調べる	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ、エ	(1)キ、ク／ (2)カ	104
3歴史物語を読む	大鏡	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ	106
	〔言語〕道真伝説を調べる	(1)ア	(1)キ、ク／ (2)オ	113
4歌話・歌論を 読む	袋草紙	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、オ	116
	無名抄	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	118
	■古文の窓6 和歌と「すき」	(1)イ／ (2)ウ	(1)エ	120
	古今和歌集仮名序	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	121
	■古文の窓7 勅撰和歌集の歴史	(1)イ／ (2)ウ	(1)エ	122
5作り物語を 味わう	源氏物語〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ、ク／ (2)ア	124
	■古文の窓8 その後の若紫	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	134

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等 読むこと	
	『源氏物語』—現代語訳の世界	(1)イ/ (2)ア、ウ、エ	(1)ク	135
6 俳諧に親しむ	近世俳句抄	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	138
	去来抄	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、ク	143
	三冊子	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	145
	■古文の窓9 連歌と俳諧	(1)イ、エ/ (2)ア	(1)エ	146
7 伝承の世界	古事記	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、カ、ク	148
	■古文の窓10 現代に伝わる日本の神話	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	154
漢文編 I 部				
1 故事と小話	小話一四編 〈確認しよう〉〔言語〕	(1)ア、イ/ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、キ/ (2)ア	156
	■漢文の窓1 漢文と古典落語	(2)ア、エ	(1)ウ、エ、ク	162
2 唐詩と文	唐詩一六首	(1)ア、イ、エ/ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	164
	■漢文の窓2 届く言葉と届かない言葉	(2)エ	(1)エ、カ	170
	文一二編	(1)ア、ウ/ (2)イ、エ	(1)ア、イ、ウ、キ	171
3 史記を読む	項羽と劉邦 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ/ (2)ウ、エ	(1)ア、イ、エ、カ/ (2)ア	178
	〔言語〕『史記』の名場面を脚本化する	(1)ア、ウ/ (2)エ	(1)ウ、オ、ク/ (2)エ	191
	項羽の人物像に迫る	(1)イ/ (2)イ、エ	(1)ア、イ、エ、ク	192
	■漢文の窓3 捲土重来	(2)エ	(1)ウ、ク	196
4 中国の知恵	寓話一四編 〔言語〕	(1)ア、イ/ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、カ/ (2)オ	198
	■漢文の窓4 始皇帝と韓非	(2)エ	(1)エ、オ	204
5 三国志の世界	十八史略	(1)ア、イ、ウ/ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、エ、キ	206
	■漢文の窓5 三国志	(2)ア、エ	(1)エ、ク	216
漢文編 II 部				
1 小話を読む	小話一三編 〔言語〕	(1)ア、イ/ (2)イ、エ	(1)ア、イ、エ、ク/ (2)イ	218
2 古詩を味わう	古体詩一五首 〔言語〕	(1)ア、イ、エ/ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、エ、カ/ (2)イ	226
3 史記を味わう	廉頗と藺相如 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ/ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、オ、ク/ (2)キ	240
	■漢文の窓6 交友論	(2)ア、エ	(1)エ、オ、キ、ク	246
4 中国の思想	儒家と道家 〔言語〕	(1)ア、イ、エ/ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ (2)イ	248
	■漢文の窓7 儒家と道家	(2)ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、カ	258

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等 読むこと	
5日本の漢詩文	詩一二首	(1)ア、イ、エ／ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	260
	〔言語〕漢詩の作り方を知る	(1)イ、エ／ (2)イ、エ	(1)エ、キ、ク (2)ウ	262
	■漢文の窓8 明治の文豪と漢詩	(2)ア、エ	(1)ウ、エ、カ	263
	信玄と謙信	(1)ア、イ、ウ／ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	264

漢字音訓一覽表

(前見返し)

(数字は初出ページを示す。)

1 絵詞 強飯 宿直 駒競 2 白粉 伊勢 焚き染める 東屋 子 午 未 申 鶏合 雄
 3 十訓抄 徒然草 竹取 更級 初冠 三冊子

(目次)

2 児 出雲 3 秀子 貫之 孝標女 西鶴 4 給ふ 道真 伊周 5 向井 服部 倭 建命
 6 饅頭 井伏鱒二 岑参 憶フ 呂氏 7 者 安クンゾ 上邪 楽府 不ル 不 8 牛車

(本文)

【古文編】

10 水瓶 11 侍り 12 帝 候ふ 定信 悪 13 誰 14 和泉 保昌 妻 内侍 定頼 思す
 15 生野 二藤左衛門 16 魂 頼宗 教通 17 住吉 18 領る 聖海 御前 千歳 勸請 19 童部 海北 20 歩く 薫く 21 失す 22 対
 23 望月 狩野 24 卜部兼好 本居宣長 25 雅び 違ふ 26 情 享保 賀茂 松
 27 例 貴し 去年 朝 28 誰 建曆 賀茂御祖 寄人 29 翁 30 籠
 31 御 悪し 32 御衣 朝廷 賜ふ 33 率る 妃 蔵人 近衛 34 上達部 調石笠 公
 35 士 煙 36 降る 留まる 近江 伊香 小江 伊香刀美 世阿弥 40 業平 朝臣
 41 文屋康秀 42 讃岐 43 頼政 後鳥羽 式子 44 夜半 46 友則 列樹
 47 壬生忠見 49 有吉保 知子 依田 泰 52 十二月 県 四年五年 館
 54 千歳 年齢 55 疾く 破る 天慶 望行 56 継母 額 常陸 上総 57
 58 太秦 行成 59 后 法華 浮舟 衝立 提婆達多品 薫 60 倫寧 62 今宵
 64 義仲 頼朝 範頼 義経 神戸 長門 知盛 重能 入水 教経 65 能登 直垂
 66 大音声 安芸 実康 実光 67 剛 弟 猛う 主 徒 弦
 68 弓手 侍 69 忠度 重盛 宗盛 重衡 71 太夫 72 熊谷 尼崎
 74 晦日 間銭 75 顕る 親仁 帷子 78 俳優 早蕨 79 団扇 尿 来迎
 80 上水内 81 郡 82 家持 84 銀 従者 隙 85 前栽 透垣 羅文 87 隆家 88 炭櫃
 89 煎海鼠 仁勢 洒落 90 前 91 釈迦 英 92 平城 春日 垣間見る 狩衣 信夫
 93 陸奥 融 94 乾飯 95 修行者 谷 96 武蔵 下総 守 魚 98 親王 水無瀬 右馬
 101 所狭がる 給ふ 千曲 102 寝 冠着 104 甲 乙 丙 丁
 105 竜頭 106 芥世 107 大幸権師 大臣 東風 108 師輔 兼通 冷泉 朱雀 109 太政
 111 中心 112 雲林院 菩提 大宅 繁樹 116 節信 長 帯刀 見参 引き出物 長柄 義則 117
 118 滋子 俊頼 121 天地 武士 122 凡河内躬恒 続 124 上達部 125
 126 扨る 127 聖 惟光 脇息 按察 乳母子 128 犬君 130 髪ざし 御髪
 132 消息 133 御息所 為時 宣孝 134 明石 甲斐 135 与謝野 田辺 136
 139 梅 140 野分 141 中山道 142 裏店 住居 信濃 143 賞でる 144 楽柿舎 147
 148 倭比売命 美夜受比売 相模 国造 焼遺 焼津 149 弟

たちばな まを まつりごと かへりことまを さがむ うみへ みはか かへ なる のこ のつ ほ
 橋 白す 政 覆 奏す 相模 海辺 御陵 還る 食む 150 化る 遺す 詔る 続く 譽
 む 151 みはかし いふ きむなで ただ つかひ まと いこ 152 美濃 能煩野 思ふ 全し 平群 髻
 ゼ くにしひうた くにしひうた わぎへ 153 たち 崩る はゆまのつかひ いながら ところづら やひろ しの かふち みぎぎ
 華 思国歌 愛し 我家 大刀 崩る 駸使 稲幹 野老 蔓 八尋 小竹 河内 御陵
 154 あれ いぎなきのみこと いぎなきのみこと あまてらすおおみかみ おろち すきの おのみこと いわみ たかまがはら あしはらのなかつくに
 阿礼 伊邪那岐命 伊邪那美命 天照大神 大蛇 須佐之男命 石見 高天原 葦原 中国
 遷々 芸命 遷す

【漢文編】

155 わに じん しょう せい 156 えが く なす まつ まき じに 能く 157 いま 未ダ 固ヨリ 遂ニ 終ニ 亡フ
 りゆうきょう 158 そ 縁フ 便即チ 視ル 腸 159 あ 方タル 若シ 湯湯 復タ 以為ヘラク 160 従
 リテ 列ベテ 是レ 穴ツ 則チ 詰ル 自ヅカラ 許ナリ 若 尚ホ 162 美味しい 傷ふ 崇
 とく 163 あ 倍 164 頭 低ル 字 165 須キル 発ク 厄除け 166 到ル 円カ 何レ 処
 167 アク 蘇 庫車 168 乾坤 169 夕 猶ホ 171 然リ 以ツテ 食フ 是ノ 172 見ル 与
 ベシ 策ツ 能フ 策 嗚呼 邪 173 縁ル 溪 路 異シム 前ム 便チ 174 其中 如シ 並
 つぶさ 具ニ 要フ 175 各 延ク 停マル 道フ 176 扶フ 向 誌ス 詣ル 即チ 遣ム 随フ
 ゆ 往ク 規ル 尋グ 177 別姫 179 見ユ 然レドモ 意フ 今者 令ム 180 与ニ 垂父 数
 こと 起ツ 不者ンバ 虜 182 憤怒 是 何如 止ム 内ル 側ツ 披ク 尽ク 何為ル 183
 覆ス 夫レ 184 勝フ 敢ヘテ 還ス 故 苦ダシ 耳 窃カニ 須臾 如ク 185 使ム 奈何
 いま 如今 方ニ 為リ 談 187 為ル 蓋フ 泣 189 亡ボス 縦ヒ 非ズ 190 面ク 購フ 191
 せりふ 台詞 193 嫉ム 予フ 所以 195 卒ニ 196 羞 与ニ 198 中タル 利シ 博シ 200 渉ル
 自リ 墜ツ 為ム 難シ 201 亡グ 何遽ゾ 居ル 将キル 墮ツ 202 易シ 203 昔者 説ブ
 こた 対フ 悪ム 畜フ 陳ブ 死ス 204 守株 逆鱗 205 葛飾 206 毎 訪フ 識ル 陥す 207
 きしほ 挟ム 附ク 208 若シ 宛 食 209 如シ 効ス 210 略ボ 等 拒グ 素 篤い 212 由リ
 やこくこう 斜谷口 伐ツ 遺ル 興ク 夜 親ラ 覽ル 213 幾 卒ス 奔ル 反ス 将ニ 料ル 215 落
 あや 文 繁し 彼れ 尚 219 戴ク 順フ 則 作ス 220 即ク 221 困シム 223 少シ 嗟呼 北
 京 224 寧クンゾ 226 帰グ 宜シ 227 陵 江 雷 雨ル 228 采ル 佳シ 此中 229 総
 テ 罷ム 230 棄ツ 側ラ 六 扶ク 承ク 帳 度ル 231 粧ヒ 232 動ス 委ツ 少 233
 めく 旋ル 中 空シ 信ス 依ル 未央 如何 234 掃フ 挑グ 与共ニ 曾テ 致ク 教ム 電 遍
 シ 235 膚 貌 参差 是 236 聞道ク 偏ク 睡リ 両ツナガラ 唯ダ 将ツ 237 但ダ
 かなら 会ズ 238 翼 住み処 伝 容貌 240 好 度ル 241 肯ンズ 243 徒ダ 羞ツ 毎 匿ル
 244 事フ 宣ブ 羞ヅ 況ンヤ 孰与レ 若ク 顧ツテ 念フ 248 如ク 仲尼 249 道ク 斉
 フ 格ル 250 運ラス 要ム 251 観ル 253 用ツテ 256 累ハス 蔵ム 258 適う 259 武
 だ 田 260 歳 261 去ク 常規 金之助 262 滴ル 263 生 264 北条 陰カ 越後 266 旧
 268 氏政 舎ツ

(附録)

270 丁 健 光輝 271 百代 寿夫 剛生 和幸 有職 273 八十島 敏行 難波 幣 274
 たかさご 高砂 興風 深養父 右近 等 由良 275 能宣 小夜 道雅 網代 276 周防 尾の上 外山
 279 然らず 往(去)ぬ 292 為手 294 給ぶ 賜ぶ 行幸 295 御座 御意 301 愛づ 302

とねり 冬嗣 景戒 順 303 十六夜 曹洞 304 国姓翁 赤穂 312 伍員 句踐 煬帝 孔穎達
 しじつがん 貞観 313 沈約 四書集注 金瓶梅

(後口絵・後見返し)

4 単 畳紙 5 立烏帽子 6 遣水 母屋 半葺 御溝水 7 衝立 為恭 8 横笛 9
 をみなへし 朝貌 蘇芳 檜皮 梔子 青鈍 10 物の怪 産養 五十日 書 後朝 露 顕 11
 つちのと 己 辛 乾 14 職 令外官 長官 次官 判官 主典 勘解由使 檢非違使 中務 刑部 木
 く 工 淑景舎 御息所 御息所 内侍司 殿 尚 典 掌 女 孀 采女 15 将 監 衛 門 督 尉
 ないしのかみ ないしのじょう ないしのすけ
 尚 侍 掌 侍 典 侍

出典一覧表

※下記以外の教材、写真、図、地図はすべて自社作成。原則として、表記・句読点の訂正は除く。

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
①	食事の様子	写真	「紫式部日記絵詞」					個人蔵
①	イラスト（貴族）	イラスト						早川尚郎
①	勤務する貴族の姿	写真	「駒競行幸絵巻」					和泉市久保惣記念美術館
②	黛で眉を引く女性	写真	「伊勢新名所絵歌合」					神宮徴古館
②	櫛で髪を梳く様子	写真	「源氏物語絵巻」東屋(一)					徳川美術館
②	イラスト（碁）	イラスト						早川尚郎
②	蹴鞠	写真	「年中行事絵巻」					田中家／中央公論新社
②	鶏合	写真	「年中行事絵巻」					田中家／中央公論新社
9	キャラクターとしての小野篁	写真	『小野篁歌字尽』					京都大学附属図書館
10	児の飴食ひたること	国語教材	日本古典文学大系85 『沙石集』			岩波書店	1966	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P346L6～L16を採録し、「児の飴食ひたること」と表題を付した。／P346L10「水瓶（みづがめ）」→「水瓶（すいびやう）」／P346L11「坊主帰りたりければ…」で改行した。／P346L15「飴は食はれて…」で改行した。								
12	宇治拾遺物語 小野篁、広才のこと	国語教材	新日本古典文学大系42 『宇治拾遺物語 古本説話集』			岩波書店	1990	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P102L10～P103L5を採録し、「小野篁、広才のこと」と表題を付した。／P102L14「のろひ参らせてなり」→「呪ひ参らせて候ふなり」								

12	小野篁	写真	「古画類聚」		松平定信編			東京国立博物館
14	十訓抄 大江山の歌	国語教材	新編日本古典文学全集51 『十訓抄』			小学館	1997	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P122L6～P123L10を採録し、「大江山の歌」と表題を付した。／P122L6小見出し「小式部内侍の歌才」を削除した。／P123L3「まだふみも…」の部分、改行せずに前行に続けた。／P123L7「世におぼえ」→「世覚え」（『十訓抄 第三類本 彰考館蔵』により修正）							
15	大江山の歌	写真	『十訓抄』					東京国立博物館
16	和泉式部 歌碑（貴船神社）	写真						サイネットフォト YMA110006498
17	「徒然草画帖」	写真			住吉具慶			東京国立博物館
18	徒然草	国語教材	『新訂 徒然草』		兼好	岩波文庫	1985	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「丹波に出雲といふ所あり」：原典のP391L8～P392L5を採録し、「丹波に出雲といふ所あり」と表題を付した。／P392L1「『…異なりけり』、『都のつとに…』」→「『…異なりけり。都のつとに…』」／P392L3「侍（はんべ）らん。」→「侍（はべ）らん。」／「九月二十日のころ」：原典P67L2～L9を採録し、「九月二十日のころ」と表題を付した。／P67L2「九月（ながづき）」→「九月（くぐわつ）※したがって振り仮名削除」／P67L2「侍（はんべ）り」→「侍（はべ）り」／P67L9「侍（はんべ）り」→「侍（はべ）り」／「花は盛りに」：原典P231L3～P232L7を採録し、「花は盛りに」と表題を付した。／P232L1「望月の隈なきを…」で改行した。／P232L3「村雲（むらぐも）」→「群雲（むらくも）」							
19	「徒然草絵巻」	写真			海北友雪			サントリー美術館
20	「徒然草絵巻」	写真			海北友雪			サントリー美術館
21	『なぐさみ草』	写真			松永貞徳			国文学研究資料館 高乗勲文庫
23	兼好法師	写真			伝狩野探幽			神奈川県立金沢文庫
25	玉勝間	国語教材	日本思想大系40 『本居宣長』		本居宣長	岩波書店	1978	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／読点を適宜句点に置き換え、文の区切れを示した。／引用部分はカギ括弧「」で括った。／「兼好法師が詞のあげつらひ」：原典P135L15～P136L9を採録し、「兼好法師が詞のあげつらひ」と表題を付した。／P136L3「すべてなべての…」で改行した。							
26	本居宣長（自画像）	写真			本居宣長			本居宣長記念館
27	方丈記	国語教材	『新訂 方丈記』		鴨長明	岩波書店	1989	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P9L1～P10L7を採録し「ゆく河の流れ」と表題を付した。／P9L4「たましきの都…」で改行した。							

29	「竹林之翁」	写真	「竹取物語」より		小林古径			京都国立近代美術館
30	竹取物語	国語教材	新編日本古典文学全集12 『竹取物語 伊勢物語 大和物語 平中物語』			小学館	1994	(下欄参照)
<p>それぞれ、指導上の配慮により、原典の小見出しを削除するとともに、以下の修正を行った。また、各本文の前後や省略部分のあらずじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／「なよたけのかぐや姫」：参考資料として、原典P17L1～P18L7を採録し、「なよたけのかぐや姫」と表題を付した。／P17L9「翁いふやう…」の部分を改行せずに前行に続けた。／「天の羽衣」：原典P74L3～P75L13を採録し、「天の羽衣」と表題を付した。／P74L9「かぐや姫」→削除／P74L13「かぐや姫…」で改行せずに前行に続けた。／P74L15～P75L5の行頭の一字下げは行わずに、カギ括弧「」で括った。／P75L6「とて、」の部分を改行せずに前行に続けた。／P75L7「かぐや姫」→削除／P75L10「中将に…」で改行せずに前行に続けた。／「富士の山」：原典P76L6～P77L8を採録し、「富士の山」と表題を付した。／P76L14「帝」→削除／P77L7「『ふじの山』とは」→「富士の山とは」／P77L8「その煙…」で改行せずに前行に続けた。</p>								
30	かぐや姫と翁、嫗	写真	「竹取物語絵巻」					国立国会図書館
32	かぐや姫の昇天	写真	「竹取物語絵巻」					国立国会図書館
35	帝への奏上	写真	「竹取物語絵巻」					国立国会図書館
37	扇型小倉百人一首歌かるた 将棋駒型小倉百人一首歌かるた 貝型源氏歌かるた	写真						大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
38	小倉百人一首の世界	国語教材	『マンガでわかる百人一首』		あんの秀子	池田書店	2010	(下欄参照)
<p>それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P49（光孝天皇）、67（文屋康秀）、231（二条院讃岐）、149（紫式部）の各上段部分を採録し、小見出しを削除、本文の太字部分を他と同じ書体とした。／P49L3「正月のこと。」→「正月から始まる。」／P49L6「春の七草を食する七草粥の習慣は」→「春の七草を食する今の七草粥につながる習慣は、」／P49L16「陽成天皇（13番）」→「陽成天皇」／P54L1「在原業平は…のあるところだ。」→削除／P54L10「訳す必要がない。」→「訳さなくてよい。」／P54L12「と詠むが」→「と詠んでいるが」／P54L112「竜田川を見て」→「実際の竜田川を見て」／P54L14「よく知られたことで」→「よく知られており」／P54L16「高子との恋を…濃すぎるからか。」→「また、「水くくる」というのもいい。真紅に染まったたくさんの紅葉が、幾重にも水と絡んで、まるでしぼり染めのようになっとうねりながら、川を流れていくのである。歌に紅葉という言葉はないが、美しい情景が伝わってくる。（改行）作者の在原業平は、六歌仙の一人で、色好みの代名詞的存在。色好みとは、恋愛における情趣を重んずる人を指した。風流を解する人をいう場合もあって、昔の人が恋愛に求めた感性と、季節の風物や時の流れに</p>								

	<p>接したときに生じる趣とは、どこかで通じていたのであろう。」／P231L1「寄石恋（いしによするこい）」→「石に寄する恋」／P231L10「ひまもないのですよ。」→「ひまもないのですよ、と訳せる。」／P231L13「海辺から離れた沖にあって」→「海辺から離れた所にあつて」／P149L2「作者・紫式部の歌が百人一首にもある。」→「作者紫式部の歌が『百人一首』にもある。」／P149L8「つまり幼友達とあるので、」→「幼友達とあり、」／P149L16「歌の収録順では恋の歌の名人・和泉式部の次に」→「『百人一首』の順序では、恋の歌の名人和泉式部の次に、」</p> <p>和歌の部分は、『新編国歌大観』第5巻（角川書店1987）によった。／「めぐりあひて…」（紫式部）の和歌については、通行本文に従い、結句「夜はの月かげ」→「夜半の月かな」とした。</p>							
38	光孝天皇	写真	「光琳かるた」					平凡社
39	春の七草	写真						アマナイメーヅ 10173000888
41	在原業平朝臣	写真	「光琳かるた」					平凡社
42	二条院讃岐	写真	「光琳かるた」					平凡社
45	紫式部	写真	「光琳かるた」					平凡社
45	（顔写真）あんの秀子	写真						あんの秀子
46	『小倉百人一首』より	国語教材	『新編国歌大観』第5巻			角川書店	1987	（下欄参照）
	原典P933～934「百人一首」より、33・35・32・69・40・41・68・84の歌を採録。							
49	『百人一首』				有吉保	講談社	1983	
49	『百人一首解剖図鑑』				谷知子	エクスナ レッジ	2020	
49	『原色小倉百人一首』				鈴木日出 男、山口慎 一、依田泰	文英堂	2024	
49	『英語で読む百人一首』				ピーター・J ・マクミラ ン	文藝春秋	2017	
50	「天徳内裏歌合想定 図」	写真						京都文化博物館
51	平安時代の船の旅	写真	「北野天神縁起絵巻」					北野天満宮
52	土佐日記	国語教材	新日本古典文学大系24 『土佐日記 蜻蛉日記』		紀貫之	岩波書店	1989	（下欄参照）

			紫式部日記 更級日記』					
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「馬のはなむけ」：原典P3L1～L10を採録し、「馬のはなむけ」と表題を付した。／P3L7～L8の間の1行空きを削除し、L8「廿二日に…」の部分を一文字下げとした。／「帰京」：原典P32L6～P33L6を採録し、「帰京」と表題を付した。／P32L6「夜更けて…見へず。」→削除／P33L6「とまれ…」の部分、改行せずに前行に続けた。							
53	『土佐日記』（写本）				藤原為家			大阪青山歴史文学博物館
56	更級日記	国語教材	新日本古典文学大系24 『土佐日記 蜻蛉日記 紫式部日記 更級日記』		菅原孝標女	岩波書店	1989	（下欄参照）
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「門出」：原典P371L1～L14を採録し、「門出」と表題を付した。／「物語」：原典P385L1～P386L7を採録し、「物語」と表題を付した。／P385L4「『この源氏の…みな見せ給へ』と」→「この源氏の…みな見せ給へと」							
57	「更級日記」				佐多芳郎			大佛次郎記念館
60	物語を楽しむ女性たち	写真	「源氏物語絵巻」東屋（一）					徳川美術館
61	尊卑分脈	写真						国立国会図書館
62	孝標女の石山寺参詣	写真	「石山寺縁起絵巻」					石山寺
63	巖島神社	写真						巖島神社／アマナイメーヅ25053017067
63	「平家納経」	写真						巖島神社／奈良国立博物館
64	平家物語	国語教材	新編日本古典文学全集46 『平家物語2』			小学館	1994	（下欄参照）
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。本文の前のあらすじの文章は、編集委員会で書き下ろした。読みやすさを考慮し、会話部分は原則的に改行を行った。／「壇の浦の合戦」：原典P386L8～P390L4を採録し、「壇の浦の合戦」と表題を付した。／P387L7「給ひそ、」→「給ひそ。」／P388L16「ゑい」→「えい」／P389L6の小見出しを削除した。							
64	壇の浦	写真						NNP 0141A 03487
65	義経を追う教経	写真	「平家物語絵巻」					林原美術館
67	大鎧（前・後）	写真						風俗博物館

69	能登殿の最期	写真	「平家物語絵巻」					林原美術館
71	「職人尽歌合」	写真						東京国立博物館
71	『新・平家物語(一)』	写真			吉川英治	講談社	1989	
72	能『敦盛』	写真						能楽協会／鍬仙会
72	人形浄瑠璃文楽『義経千本桜』より「渡海屋・大物浦の段」	写真						人形浄瑠璃文楽座／国立劇場
72	歌舞伎『平家女護島』より「俊寛」	写真						日本俳優協会／松竹株式会社
73	「月次風俗図屏風」	写真						サントリー美術館
74	世間胸算用	国語教材	新編日本古典文学全集68『井原西鶴集』3		井原西鶴	小学館	1996	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P431L1～P432L17を採録し、「蛸売りの八助」と表題を付した。／P431L4「それぞれ」→「それぞれ」／P432L8「じろりと」→「ぢろりと」								
77	おらが春	国語教材	『一茶 父の終焉日記・おらが春 他一篇』		小林一茶	岩波文庫	1992	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P158L5～P162L8を採録し、「幼子さと」と表題を付した。／P159L10「愛嬌(あいきょう)」→「愛敬(あいきやう)」／P161L4「見る(に)つけつゝ」→「見るにつけつゝ」								
81	おしなりくん	イラスト						おしなり商店街振興組合(東京都墨田区)
82	こまちちゃん	イラスト						秋田県湯沢市
82	カブッキー	イラスト						石川県小松市
82	ちはや姫	イラスト						京都府宇治市
82	酒呑童子	イラスト						京都府福知山市
82	与一くん	イラスト						栃木県大田原市役所商工観光課
82	家持くん	イラスト						富山県高岡市
82	飛梅丸	イラスト						福岡県(ふくおか県)

								民文化祭)
82	一茶さん	イラスト						一茶記念館
83	清少納言	写真			上村松園			北野美術館
84	枕草子	国語教材	新編日本古典文学全集18 『枕草子』		清少納言	小学館	1997	(下欄参照)
	<p>それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。「ありがたきもの」：原典P127L1～L9を採録し、「ありがたきもの」と表題を付した。／P127L1「ありがたきもの 舅に」→「ありがたきもの、舅に」／P127L2「しろがね」→「銀（しろかね）」／P127L3「つゆの…」で改行した。／P127L6「物語、…」で改行した／P127L8「男女…」で改行した。「九月ばかり」：原典P236L7～P237L2を採録し、「九月ばかり」と表題を付した。／「中納言参り給ひて」：原典P196L1～L11を採録し、「中納言参り給ひて」と表題を付した。／「雪のいと高う降りたるを」：原典P433L6～P434L1を採録し、「雪のいと高う降りたるを」と表題を付した。／P433L9「人々も…」で改行した。／</p>							
85	萩	写真						アマナイメー 01701013907
91	「見立業平涅槃図」	写真			英一蝶			東京国立博物館
92	伊勢物語	国語教材	新日本古典文学大系17 『竹取物語 伊勢物語』			岩波書店	1997	(下欄参照)
	<p>それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「初冠」：原典P79L2～P80 L4を採録し、「初冠」と表題を付した。／P80L1「思けん、」→「思ひけむ。」／「東下り」：原典P87L3～P90L1を採録し、「東下り」と表題を付した。／P89L4「…河あり、それを…」→「…河あり。それを…」／P89L5「…むれみて思ひやれば、限りなく…」→「…群れみて、思ひやれば限りなく…」／「渚の院」：原典P157L8～P160L1を採録し、「渚の院」と表題を付した。採録箇所の内、原典P158L9～P159L6「御共なる…」～「…あらじとぞ思」までは、本文の代わりに梗概を示した。／P158L3「いま狩する…」で改行した。／P158L5「馬頭なりける人のよめる。」→「馬頭なりける人の詠める、」／P158L9「御供なる人…」で改行した。／P159L2「奉りける。」→「奉りける、」／P159L4「親王、…」の前の1字下げを削除した。／P159L5「仕うまつれり、」→「つかうまつれり。」／P159L9「馬頭のよめる。」→「馬頭の詠める、」</p>							
92	春日の里	写真	「伊勢物語絵巻」		住吉如慶			東京国立博物館
94	八橋	写真	「伊勢物語図」		尾形光琳			東京国立博物館
94	かきつばた	写真						NNP 0036A36045
97	「業平東下り図」	写真			尾形光琳			五島美術館
97	鳴	写真						NNP 0057A48968
97	ユリカモメ	写真						NNP 0156A04619

100	渚の院	写真	「伊勢物語絵巻」(模本)					東京国立博物館
101	大和物語	国語教材	新編日本古典文学全集12 『竹取物語 伊勢物語 大和物語 平中物語』			小学館	1994	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P391L2～P392L12を採録し、「姨捨」と表題を付した。／P391L12「月のいと…」およびP392L5「この山の上より…」で改行した。／P392L7「よみたりける。」→「詠みたりける、」								
102	冠着山	写真						アマナイメーヅ 25388004929
105	竜頭鷓首を眺める道長	写真	「紫式部日記絵詞」					藤田美術館
106	大鏡		新編日本古典文学全集34 『大鏡』			小学館	1996	(下欄参照)
それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典の小見出しおよび小書きを削除した。／各本文の前のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／「道真の左遷」：原典P74L4～P75L6を採録し、「道真の左遷」と表題を付した。／「三船の才」：原典P115L11～P116L13を採録し、「三船の才」と表題を付した。／P116L4「よみたまへるぞかし、」→「よみたまへるぞかし。」／「道長、伊周の競射」：原典P324L14～P326L7を採録し、「道長、伊周の競射」と表題を付した。								
109	三船の才	写真	「大堰川舟遊図屏風」					泉涌寺
111	弓を射る道長と伊周	写真	「大かゞみ絵詞」					国立歴史民俗博物館
112	雲林院の菩提講	写真	「大かゞみ絵詞」					国立歴史民俗博物館
113	「松崎天神縁起絵巻」	写真						防府天満宮
113	飛梅(太宰府天満宮)	写真						太宰府天満宮
114	「松崎天神縁起絵巻」	写真						防府天満宮
115	歌会の様子	写真	「慕帰絵」					西本願寺
116	袋草紙		新日本古典文学大系29 『袋草紙』				1995	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P87L1～L7、P88L2～L3を採録し、「能因と節信」と表題を付した。／P87L1「逢ひ」→「逢ひて」、「相互に」→「かたみに」／P87L4「造るの時の」→「造りし時の」、「時に節信…」以下を改行した。								
116	「能因と節信」	写真			案本一洋画 吉沢義則書			兼築信行
118	無名抄	国語教材	鴨長明全集			貴重本刊 行会	2000	(下欄参照)

	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P68下段L9～P69上段L8を採録し、「出で映えすべき歌のこと」と表題を付した。／P68下段L9「建春門女院の」→「建春門の女院の」／P68下段L9「頼政卿哥に」→「頼政卿の歌に、」／P68下段L16「これはいでばえ」→「これは出で映え」／P68下段L15「此哥は、かの能因が、秋風ぞふく白河のせきといふ」→「この歌は、かの能因が『秋風ぞ吹く白河の関』といふ」／P68下段L19「あらずと、」→「あらず。』と」／P69上段L1「とき、貴房の」→「時、『貴房の」／P69上段L2「申べしと」→「申すべし。』と」／P69上段L4「いでばへして、」→「出で映えして」／P69上段L5「みる所ありて、」→「『見る所ありて、」／P69上段L6「あひなく」→「あいなく」／P69上段L8「おぼえ侍しとぞ、」→「おぼえ侍りし。』とぞ、」							
121	古今和歌集仮名序	国語教材	新日本古典文学大系5 『古今和歌集』		紀貫之	岩波書店	1989	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P4L1～6を採録し、「やまと歌は」と表題を付した。							
123	翻訳された『源氏物語』	写真	『THE TALE OF GENJI』		アーサー・ウェイリー 訳	チャールズ・イー・タトル出版		
124	源氏物語		新編日本古典文学全集20 『源氏物語1』		紫式部	小学館	1994	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、小見出しおよび小書きを削除するとともに、以下の修正を行った。本文の前後のあらすじの文章は、編集委員会で書き下ろした。／「光源氏の誕生」：原典P17L2～P19L3を採録し、「光源氏の誕生」と表題を付した。／P17L11「上達部、上人なども…」で改行した。／「若紫」：原典P205L11～P209L15を採録し、「若紫」と表題を付した。／P206L7「十ばかりやあらむ」→「十ばかりにやあらむ」／P207L10「つらつきいとらうたげにて…」の部分をも、改行せずに前行に続けた。／P208L4「たまへりぞかし」→「給へりしぞかし」／本文の主語および話者について、適宜本文の傍らに小書きで示した。							
125	玉の男皇子	写真	「源氏物語図屏風」		狩野氏信			個人蔵／堺市博物館
129	垣間見する光源氏	写真	「源氏物語絵色紙帖」					京都国立博物館
130	少女	写真	「扇面古写経」(模本)					東京国立博物館
133	紫式部	写真			土佐光起			石山寺
135	与謝野晶子 訳	国語教材	『全訳源氏物語一 新装版』		与謝野晶子	KADOKAWA	2008	原典P7L1～L2を採録した。
135	谷崎潤一郎 訳	国語教材	『潤一郎訳 源氏物語一卷一』			中央公論 新社	1973	原典P19L1～L3を採録した。
135	角田光代 訳	国語教材	『源氏物語 上』		角田光代	河出書房 新社	2017	原典P7L1～L5を採録した。
136	『あさきゆめみし』	写真			大和和紀	講談社	2008	

136	『はやげん！はやよみ源氏物語』	写真			花園あずき	新書館	2012	
136	『大搦源氏物語 まろ、ん？』	写真			小泉吉宏	幻冬舎	2002	
137	「旅路の画卷」	写真			松尾芭蕉			柿衛文庫
137	「雪月花」自画賛	写真			与謝蕪村			逸翁美術館
137	「賀六十」自画賛	写真			小林一茶			柿衛文庫
138	近世俳句抄	国語教材	『新編芭蕉大成』 新編日本古典文学全集72 『近世俳句俳文集』			三省堂 小学館	1999 2001	(下欄参照)
<p>それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。</p> <p>「芭蕉」：原典『新編芭蕉大成』P43下段L6～L7・P62L上段L22・P104上段L10・P116下段L14～L15を採録した。</p> <p>「蕪村」：原典『近世俳句俳文集』P256L11・P235L15・P230L1を採録し、頭注に前書きが示されているものは句の前に付した。</p> <p>「一茶」：原典『近世俳句俳文集』P397L7・P387L4・P410L9を採録し、頭注に前書きが示されているものは句の前に付した。</p> <p>各句の解説文は、編集委員会で書き下ろした。</p>								
140	牡丹	写真						アーテファクトリー 13400235
143	去来抄	国語教材	『新編芭蕉大成』		向井去来	三省堂	1999	(下欄参照)
<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P591下段L1～下段L16を採録した。／P591下段L1「酒堂…侍るや。」→「『酒堂…侍るや。』」／P591下段L4「先師曰、…」で改行した。／P591下段L4〈「猿」とは…るや。〉→〈「『猿』とは…るや。〉」／P591下段L5「去来曰、…」で改行した。／P591下段L5「明月…たる」→「『明月…たる。』」／P591下段L7「先師曰、…」で改行した。／P591下段L7〈「ここに…ける〉→〈「『ここに…ける。』」／P591下段L11「予ガ趣向…有にや。」を省略した。／P591下段L13「(退て…ざりけり。)」→「退いて…ざりけり。」／P591下段L13「退て…」で改行した。</p>								
145	三冊子	国語教材	『新編芭蕉大成』		服部土芳	三省堂	1999	(下欄参照)
<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P730中段L1～中段L8を採録した。／原典P730中段L3「花に…」で改行した。／原典P730中段L3「餅に…先」→「『餅に…先』」／原典P730中段L5「飛…音」→「『飛…音』」／原典P730中段L7「見るに…」で改行した。／原典P730中段L7「聞に有。」→「聞くにあり、」</p>								
147	酒折の宮	写真						酒折宮
148	古事記	国語教材	新編日本古典文学全集1 『古事記』			小学館	1997	(下欄参照)

	<p>指導上の配慮により、小見出しを削除するとともに、以下の修正を行った。本文の前や省略部分のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／原典P227L3～P229L9、P231L4～L15、P233L13～P235L15、P237L5～L8を採録し、「倭建命」と表題を付した。／以下の箇所の前1字下げを削除した。P227L14「故、七日の後に」、P229L6「爾くして」、P229L9「是を以て」、P233L17「又、歌ひて曰はく」、P234L20「此の歌は、思国歌ぞ。」、P235L3「此は、片歌ぞ。」、同L7「歌ひ竟りて」／P231L10「使者ぞ」→「使者そ」／P231L12「〈此の白き猪と化れるは…惑はさえしぞ〉」を削除した。／P235L1「又、歌ひて…」の部分、改行せずに前行に続けた。／P235L3「片歌ぞ」→「片歌そ」</p>							
155	真草千字文	写真			近衛家熙			東京国立博物館
156	蛇足	国語教材	漢文大系19『戦国策正解』	26		富山房	1915	(下欄参照)
	原典P26L7「予」を「子」に改めた。							
156	卮	写真						ユニフォトプレス JB-234
158	断腸	国語教材	四部叢刊『世説新語』	140		上海商務印書館	1936	
159	知音	国語教材	四部叢刊『呂氏春秋』	80		上海商務印書館	1936	
160	畏饅頭	国語教材	和刻本漢籍隨筆集第一集『五雜俎』卷十六	333	謝肇淛	汲古書院	1972	
164	静夜思	国語教材	漢文大系2『箋註唐詩選』	5	李白	富山房	1910	
165	勸酒	国語教材	漢文大系2『箋註唐詩選』	29	于武陵	富山房	1910	
165	〔参考〕勸酒	国語教材	『卮除け詩集』	45	井伏鱒二	筑摩書房	1977	
166	磧中作	国語教材	漢文大系2『箋註唐詩選』	28	岑参	富山房	1910	
166	楼蘭遺跡を行く・月	写真			平山郁夫			平山郁夫シルクロード美術館
167	送元二使安西	国語教材	漢文大系2『増註三体詩』	34	王維	富山房	1910	
168	登岳陽楼	国語教材	『唐詩三百首』卷五	14	杜甫	香港商務印書館	1961	
168	岳陽楼	写真						ユニフォトプレス MMPF3B

169	八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九	国語教材	四部叢刊『白氏長慶集』	73	白居易	上海商務印書館	1936	
171	雑説	国語教材	四部叢刊『朱文公校昌黎先生集』卷十一	100	韓愈	上海商務印書館	1936	
171	馬踏飛燕	写真						CPC 41
173	桃花源記	国語教材	四部叢刊『箋注陶淵明集』卷五	5	陶潜	上海商務印書館	1936	
173	陶潜	写真						九州国立博物館
174 175	武陵桃源図	写真			呉春			遠山記念館
177	「霸王別姫」（京劇）	写真						アマナイメーヅ ALMA1MRA3
178	鴻門之会	国語教材	『史記会注考証』卷七 項羽本紀	141	司馬遷	芸文印書館	1972	(下欄参照)
	原典P30L3「卻」を「卻」に改めた。							
180	玉玦	写真						ユニフォトプレス 2J2CPMN
181	鴻門会	写真			安田鞞彦			東京国立近代美術館
186	四面楚歌	国語教材	『史記会注考証』卷七 項羽本紀	150	司馬遷	芸文印書館	1972	
188	項王自刎	国語教材	『史記会注考証』卷七 項羽本紀	151	司馬遷	芸文印書館	1972	
190	項羽の墓（霸王祠）	写真						ユニフォトプレス YS-57219
192	項羽の人形	写真			川本喜八郎			川本プロダクション
193	劉邦	イラスト			青木朋			
193	劉邦の臣下	イラスト			青木朋			
193	陛下慢而…	国語教材	『史記会注考証』卷八 高祖本紀	170		芸文印書館	1972	
193	項羽妒賢…	国語教材	『史記会注考証』卷八 高祖本紀	171		芸文印書館	1972	
194	劉邦	イラスト			青木朋			
194	項羽有一范増…	国語教材	『史記会注考証』卷八 高祖本紀	171		芸文印書館	1972	
194	司馬遷	イラスト			青木朋			

195	五年卒亡其国…	国語教材	『史記会注考証』巻七 項羽本紀	152		芸文印書館	1972	
197	明刊本 呂氏春秋	写真						CPC 7A2V0027
198	出藍誉	国語教材	四部叢刊『荀子』勸学	4		上海商務 印書館	1936	
199	荀子	写真						ユニフォトプレス YS-58504
200	刻舟求劍	国語教材	四部叢刊『呂氏春秋』	101		上海商務 印書館	1936	(下欄参照)
	原典P101上段L20および原典P101下段L2の「契」を「刻」に改めた。							
201	塞翁馬	国語教材	四部叢刊『淮南子』	135		上海商務 印書館	1936	(下欄参照)
	原典P135下段L2「絃」を「弦」に改めた。							
201	塞翁飼馬図屏風	写真						三重県立美術館
203	侵官之害	国語教材	四部叢刊『韓非子』二柄	9		上海商務 印書館	1936	
205	『絵本通俗三国志』挿 絵	写真			葛飾戴斗			弘前市立博物館
206	水魚之交	国語教材	漢文大系5『十八史略』	56		富山房	1911	
207	三顧茅廬図	写真			戴進			ユニフォトプレス HKRW09
209	竭股肱之力	国語教材	漢文大系5『十八史略』	65		富山房	1911	
210	流涕斬馬謖	国語教材	漢文大系5『十八史略』	68		富山房	1911	(下欄参照)
	原典P68L3～7およびP70L3～4を採録した。／原典P68L3「明年」の前に、主語となる「亮」を補った。							
212	死諸葛走生仲達	国語教材	漢文大系5『十八史略』	69		富山房	1911	(下欄参照)
	原典P68L11、P69L4～5、P69L7～P70L3を採録した。／原典P69L4「又」を削除した。／原典P69L8「而」を訓読せず置き字とした。							
214	五丈原	写真						アマナイメージュズ 27281000024
215	〔参考〕星落秋風五丈 原	国語教材	現代日本名詩集大成1	219	土井晩翠	東京創元 社	1960	
217	帝舜	写真						ユニフォトプレス AKG3808633
218	鼓腹撃壤	国語教材	漢文大系5『十八史略』	8		富山房	1911	(下欄参照)

	原典P8L2～7、P8L9～P9L2、P9L9～11を採録した。							
218	帝堯	写真						ユニフォトプレス AKG3808630
221	宋襄之仁	国語教材	漢文大系5『十八史略』	39		富山房	1911	(下欄参照)
	原典P38L6「性」を「姓」に改めた。							
222	〔参考〕兵者詭道也	国語教材	四部叢刊『孫子集注』卷一	11		上海商務印書館	1936	
223	燕雀安知鴻鵠之志哉	国語教材	漢文大系5『十八史略』	9		富山房	1911	
223	秦時代の長城	写真						ユニフォトプレス YS-78301
225	楊貴妃	写真						ユニフォトプレス J08028
226	桃夭	国語教材	十三經注疏『詩經』	587		中華書局	2009	
227	上邪	国語教材	四部叢刊『樂府詩集』	178		上海商務印書館	1936	
228	飲酒	国語教材	四部叢刊『箋注陶淵明集』	30	陶潜	上海商務印書館	1936	(下欄参照)
	連作二十首のうち、第五首を採録した。／原典P30L8「採」を「采」に改めた。							
229	子夜呉歌	国語教材	漢文大系2『箋註唐詩選』	5	李白	富山房	1910	
230	長恨歌	国語教材	四部叢刊『白氏長慶集』	63		上海商務印書館	1936	
	原典P63下段L4～P64中段L2を採録した。／原典P63下段L16「縵」を「慢」に改めた。／原典P63下段L20「娥」を「蛾」に改めた。／原典P63下段L23「媚」を「眉」に改めた。／原典P64上段L6「鍾」を「鐘」に改めた。／原典P64上段L14「玉真」を「太真」に改めた。／原典P64上段L17「夢中」を「夢魂」に改めた。／原典P64上段L18「垂」を「偏」に改めた。／原典P64上段L20「欄」を「闌」に改めた。／原典P64上段L21「眇」を「渺」に改めた。／原典P64中段L2「盡」を「絶」に改めた。							
231	楊貴妃華清池出浴図	写真						ユニフォトプレス MKPPGG
233	長恨歌絵巻	写真						大阪大谷大学図書館
234	長恨歌絵巻	写真						大阪大谷大学図書館
235								
238	〔参考〕桐壺	国語教材	新編日本古典文学全集20『源氏物語1』	35	紫式部	小学館	1994	
239	蘭相如	写真						ユニフォトプレス PT-260225

239	廉頗	写真						CPC PT-121124
240	澠池之会	国語教材	『史記会注考証』卷八十一 廉頗藺相如列伝	966	司馬遷	芸文印書館	1972	
243	刎頸之交	国語教材	『史記会注考証』卷八十一 廉頗藺相如列伝	967	司馬遷	芸文印書館	1972	
247	大成殿	写真						ユニフォトプレス YS-56463
248	論語一三章	国語教材	十三経注疏『論語』	5470 5449 5346		中華書局	2009	(下欄参照)
「吾嘗終日…」は原典P5470「衛靈公」、「君子和而不同…」は原典P5449「子路」、「道之以政…」は原典P5346「為政」より、それぞれ採録した。								
249	性相近也	国語教材	十三経注疏『論語』	5484		中華書局	2009	
250	不忍人之心	国語教材	十三経注疏『孟子』	5851		中華書局	2009	
252	人之性悪	国語教材	四部叢刊『荀子』性悪	171		上海商務印書館	1936	(下欄参照)
原典P171上段L12「犯分」を「犯文」に改めた。								
254	無用之用	国語教材	古逸叢書『老子道德経』第十一章	6		芸文印書館	1996	
255	大道廢、有仁義	国語教材	古逸叢書『老子道德経』第十八章	35		芸文印書館	1996	(下欄参照)
原典P35上段L6「恵」を「慧」に改めた。								
255	小国寡民	国語教材	『老子註』	154		芸文印書館	1996	
256	曳尾於塗中	国語教材	四部叢刊『南華真経』秋水	127		上海商務印書館	1936	(下欄参照)
原典P127下段L7「竟」を「境」に改めた。／原典P127下段L11「曳尾塗中」を、前行の表現に合わせて「曳尾於塗中」に改めた。								
259	頼山陽	写真			大雅堂義亮			福山誠之館同窓会
260	聞旅雁	国語教材	日本古典文学大系72 菅家文草 菅家後集	483	菅原道真	岩波書店	1966	(下欄参照)
原典P483L10「欬」を「歎」に改めた。								
261	送夏目漱石之伊予	国語教材	子規全集 第八卷 漢詩・新体詩	211	正岡子規	講談社	1976	
262	無題	国語教材	漱石全集18 漢詩文	429	夏目金之助	岩波書店	2018	

264	所争不在米塩	国語教材	漢文叢書『日本外史』上	944	頼山陽	有朋堂書店	1924		
264	武田信玄・上杉謙信像	写真						アマナイメーجز 11076034440	
266	諸将服信玄	国語教材	漢文叢書『日本外史』上	921	頼山陽	有朋堂書店	1924		
266	謙信公	写真			小山栄達			東京国立近代美術館	
268	〔参考〕四隣頗聞信玄死	国語教材	漢文叢書『日本外史』上	959	頼山陽	有朋堂書店	1924	(下欄参照)	
	原典P959上段L7「久之」の「之」を訓読せず置き字とした。								
270	『はなとゆめ』	写真			沖方丁	KADOKAWA	2016		
270	『阿蘭陀西鶴』	写真			朝井まかて	講談社	2016		
270	『仏果を得ず』	写真			三浦しをん	双葉社	2011		
270	『小説十八史略』	写真			陳舜臣	講談社	1992		
270	『史記』	写真			横山光輝	小学館	2001		
270	『李陵・山月記 弟子・名人伝』	写真			中島 敦	KADOKAWA	1968		
271	『NHK「100分de名著」ブックス 古事記』	写真			三浦佑之	NHK出版	2014		
271	『百代の過客 日記にみる日本人』	写真			ドナルド・キーン 金関寿夫 訳	講談社	2011		
271	『徒然草をよみなおす』	写真			小川剛生	筑摩書房	2020		
271	『三国志 演義から正史、そして史実へ』	写真			渡邊義浩	中央公論 新社	2011		
271	『始皇帝の戦争と将軍たち 秦の中華統一を支えた近臣集団』	写真			鶴間和幸	朝日新聞 出版	2024		
271	『杜甫のユーモア ずっこけ孔子』	写真			興膳 宏	岩波書店	2014		
271	『日本語の歴史』	写真			山口仲美	岩波書店	2006		
271	『平安女子の楽しい!生活』	写真			川村裕子	岩波書店	2014		

271	『詳解 有職装束の世界』	写真			八條忠基	KADOKAWA	2020	
272	小倉百人一首	国語教材	『新編国歌大観』第5巻	933 934	角川書店		1987	
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／36「いづく」→「いづこ」／37「しら露を」→「白露に」／57「月かげ」→「月かな」／66「大僧正行尊」→「前大尊正行尊」／68「三条院御製」→「三条院」／76「まよふ」→「まがふ」／76「法性寺入道関白太政大臣」→「法性寺入道前関白太政大臣」／77「崇徳院御製」→「崇徳院」／85「あけやらぬ」→「明けやらで」／91「後京極摂政太政大臣」→「後京極摂政前太政大臣」／99「後鳥羽院御製」→「後鳥羽院」／100「順徳院御製」→「順徳院」							
④	唐衣・裳（十二単）	写真						風俗博物館
④	桂	写真						風俗博物館
④	小桂	写真						風俗博物館
⑤	文官束帯	写真						風俗博物館
⑤	武官束帯	写真						風俗博物館
⑤	直衣	写真						風俗博物館
⑤	狩衣	写真						風俗博物館
⑥	寝殿造り	写真						京都文化博物館／アート・エフ
⑥	清涼殿弘徽殿の上の御局（復元模型）	写真						京都文化博物館
⑦	寝殿の内部	写真						池浩三
⑦	御簾	写真						風俗博物館
⑦	「源氏物語図」	写真			冷泉為恭			MOA美術館
⑧	網代車	写真						国立国会図書館
⑧	楽琵琶	写真						風俗博物館
⑧	和琴	写真						風俗博物館
⑧	箏	写真						風俗博物館
⑧	琴	写真						風俗博物館
⑧	箏篳	写真						宮内庁式部職楽部
⑧	笙	写真						風俗博物館
⑧	竜笛	写真						宮内庁式部職楽部

⑧	三ノ鼓	写真						宮内庁式部職楽部
⑨	せり	写真						アマナイメージズ 32095000296
⑨	なづな	写真						アマナイメージズ 32165002114
⑨	ごぎやう (ハハコグサ)	写真						アマナイメージズ 32089001962
⑨	はこべら (ハコベ)	写真						アマナイメージズ 32070001894
⑨	ほとけのぎ (コオニタビラコ)	写真						NNP 0336A04990
⑨	すずな (カブ)	写真						アマナイメージズ 32095000295
⑨	すずしろ (ダイコン)	写真						アフロ 23863962
⑨	はぎ	写真						アマナイメージズ 32048000315
⑨	をばな (ススキ)	写真						アマナイメージズ 25996-002556
⑨	くず	写真						アマナイメージズ 32171010282
⑨	なでしこ	写真						アフロ 3472158
⑨	をみなへし	写真						アマナイメージズ 25761-004148
⑨	ふぢばかま	写真						アマナイメージズ 32089001962
⑨	あさがほ (キキョウ)	写真						アマナイメージズ 32165001556
⑩	出産	写真	「北野天神縁起絵巻」					北野天満宮
⑩	元服	写真	「源氏物語色紙絵」					奈良大学博物館
⑱	瑟	写真						東京藝術大学大学美術館

⑱	琴	写真						ユニフォトプレス YSD-13331
⑱	竽	写真						CPC JB-242
⑱	簫	写真						ユニフォトプレス KJ-45
⑱	銅鼓	写真						ユニフォトプレス AKG3816005
⑱	編鐘	写真						ユニフォトプレス KJ-43
⑳	武官俑	写真						CPC YS-9507
⑳	文官俑	写真						CPC YS-9500
⑳	簪花仕女図	写真						ユニフォトプレス PT-13211
⑳	皇帝（西晋の武帝）の 礼装	写真						ユニフォトプレス MYH380
⑳	皇帝（唐の太宗）の平 常服	写真						ユニフォトプレス 2HTHWD7
⑳	武則天	写真						ユニフォトプレス C01C0487
㉑	銅馬車	写真						CPC LGY-0005
㉑	銅矢箠	写真						CPC JB238
㉑	戟	写真						ユニフォトプレス YSD-14210
㉑	戟（全体）	写真						CPC JB232
㉑	銅弩	写真						CPC JB237
㉑	矛	写真						ユニフォトプレス C01C3129
㉑	盾	写真						ユニフォトプレス JBD-457

②①	盃	写真						ユニフォトプレス YSD-12454
②①	竹簡	写真						ユニフォトプレス LGY-0002
②①	帛書	写真						ユニフォトプレス JB-451

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	前見返し 3	URL	自社	自社ページURL	コンテンツ一覧	別紙1添付
		二次元 コード	自社	同上	同上	
2	10	二次元 コード	自社	自社ページURL	現代語訳の注意点(補足資料)	別紙2添付
3	12	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 宇治拾遺物語(クイズ)	別紙3添付
4	14	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 大江山の歌(音声) 小テスト 十訓抄(クイズ)	別紙4添付
5	18	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 徒然草(クイズ)	別紙5添付
6	27	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 ゆく河の流れ(音声) 小テスト 方丈記(クイズ)	別紙6添付
7	30	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 なよたけのかぐや姫(音声) 資料映像 竹取物語(動画) 小テスト 竹取物語(クイズ)	別紙7添付
8	38	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 小倉百人一首の世界(クイズ)	別紙8添付
9	52	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 馬のはなむけ(音声) 小テスト 土佐日記(クイズ)	別紙9添付

10	56	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 門出(音声) 小テスト 更級日記(クイズ)	別紙10添付
11	64	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 壇の浦の合戦(音声) 資料映像 平家物語(動画) 小テスト 平家物語(クイズ)	別紙11添付
12	74	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 世間胸算用(クイズ)	別紙12添付
13	77	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト おらが春(クイズ)	別紙13添付
14	84	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 枕草子(クイズ)	別紙14添付
15	92	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 初冠(音声) 資料映像 伊勢物語(動画) 小テスト 伊勢物語(クイズ)	別紙15添付
16	101	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 大和物語(クイズ)	別紙16添付
17	106	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 大鏡(クイズ)	別紙17添付
18	116	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 袋草紙(クイズ)	別紙18添付
19	118	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 無名抄(クイズ)	別紙19添付
20	121	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 古今和歌集仮名序(クイズ)	別紙20添付

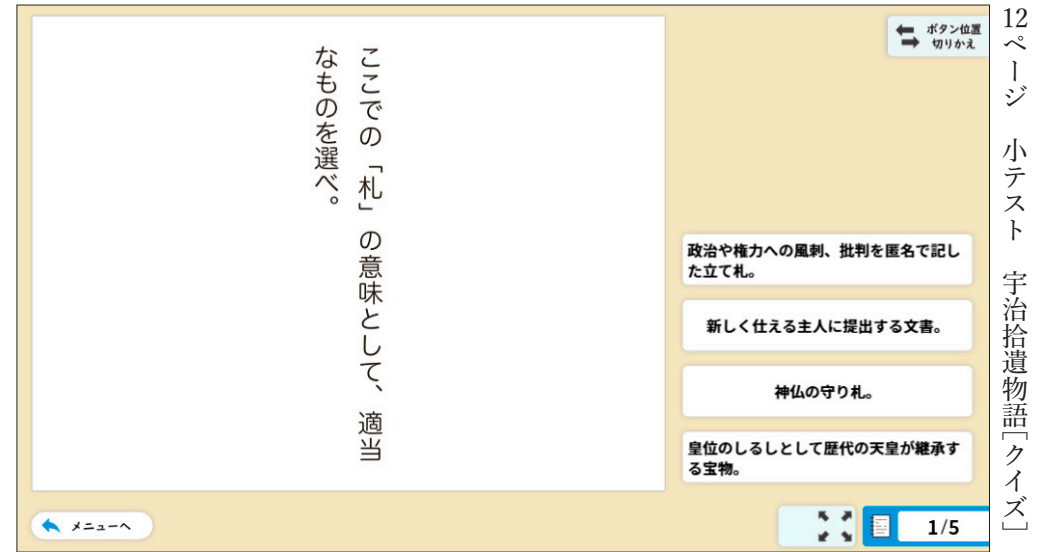
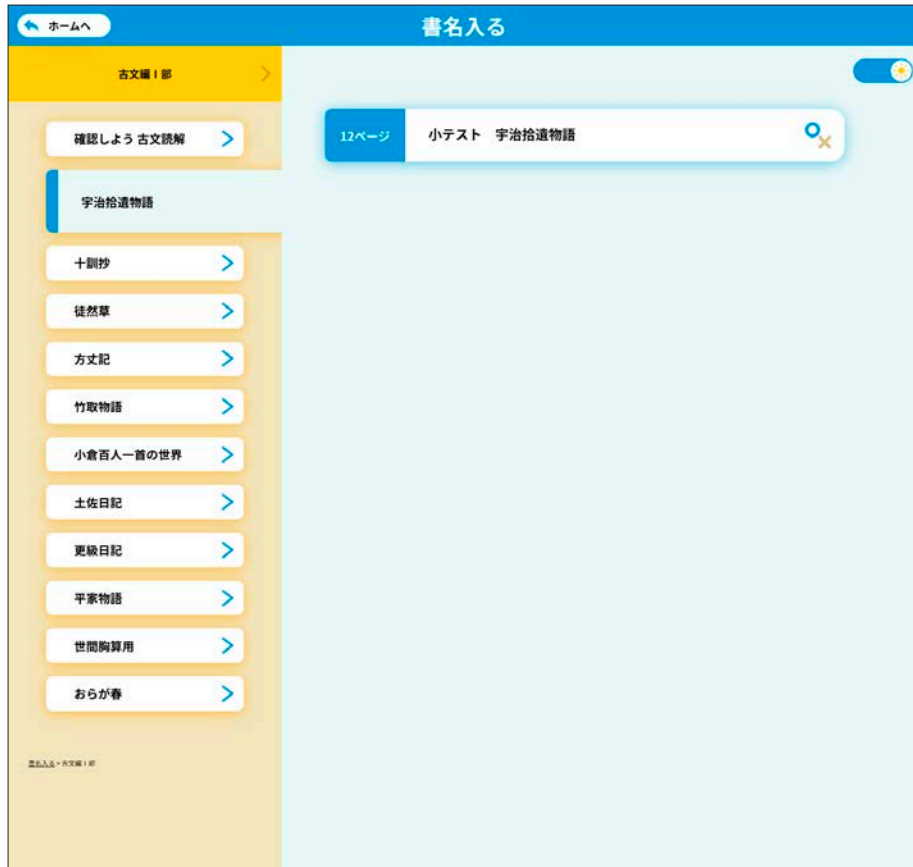
21	124	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 光源氏の誕生(音声) 資料映像 源氏物語(動画) 小テスト 源氏物語(クイズ) 『源氏物語』の登場人物(補足資料)	別紙21・22添付
22	138	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 近世俳句抄(クイズ)	別紙23添付
23	143	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 去来抄(クイズ)	別紙24添付
24	145	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 三冊子(クイズ)	別紙25添付
25	148	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 古事記(クイズ)	別紙26添付
26	156	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 小話(クイズ) 書き下し文で平仮名にする字(補足資料) 再読文字(補足資料)	別紙27添付
27	164	二次元コード	自社	自社ページURL	やってみよう 押韻(シミュレーション) 朗読 静夜思(音声) 朗読 勸酒(音声) 朗読 磧中作(音声) 朗読 送元二使安西(音声) 朗読 登岳陽楼(音声) 朗読 八月十五日夜…(音声) 小テスト 唐詩(クイズ) 漢詩の形式ときまり(補足資料)	別紙28～30添付
28	171	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 文(クイズ)	別紙31添付
29	178	二次元コード	自社	自社ページURL	資料映像 司馬遷と史記(動画) 小テスト 項羽と劉邦(クイズ) 鴻門之会 席次(ワークシート)	別紙32添付

30	198	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 寓話(クイズ) 荀子カード(補足資料)	別紙33添付
31	206	二次元コード	自社	自社ページURL	「三国志」の英雄を語る 劉備(動画) 「三国志」の英雄を語る 諸葛亮(動画) 小テスト 十八史略(クイズ) 「三国志」人物相関図(補足資料)	別紙34添付
32	218	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 小話(クイズ)	別紙35添付
33	226 230	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 古体詩(クイズ) 朗読 長恨歌(音声)	別紙36添付
34	240	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 廉頗と藺相如(クイズ)	別紙37添付
35	248	二次元コード	自社	自社ページURL	資料映像 孟子(動画) 小テスト 儒家と道家(クイズ) 中国の思想(補足資料) 孔子の弟子相関図(補足資料) 孔子カード(補足資料) 孟子カード(補足資料) 荀子カード(補足資料) 老子カード(補足資料) 荘子カード(補足資料)	別紙38・39添付
36	260	二次元コード	自社	自社ページURL	やってみよう 押韻(シミュレーション) 小テスト 詩(日本漢詩)(クイズ)	別紙40添付
37	264	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 信玄と謙信(クイズ)	別紙41添付

38	272	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 小倉百人一首(クイズ)	別紙42添付
39	278	二次元コード	自社	自社ページURL	品詞分類表(シミュレーション) 品詞分類表(ワークシート)	別紙43添付
40	279	二次元コード	自社	自社ページURL	動詞活用表(シミュレーション) 動詞活用表(ワークシート) 形容詞活用表(シミュレーション) 形容詞活用表(ワークシート) 形容動詞活用表(シミュレーション) 形容動詞活用表(ワークシート)	別紙44・45添付
41	286	二次元コード	自社	自社ページURL	助動詞活用表(シミュレーション) 助動詞活用表(ワークシート)	別紙46添付
42	290	二次元コード	自社	自社ページURL	助詞一覧表(ワークシート)	別紙47添付
43	292	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 敬語(クイズ)	別紙48添付
44	302	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 日本古典文学史(クイズ)	別紙49添付
45	305	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 句法・重要語(クイズ)	別紙50添付
46	312	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 中国文学史(クイズ)	別紙51添付
47	巻末4	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 古典参考図録(クイズ)	別紙52添付

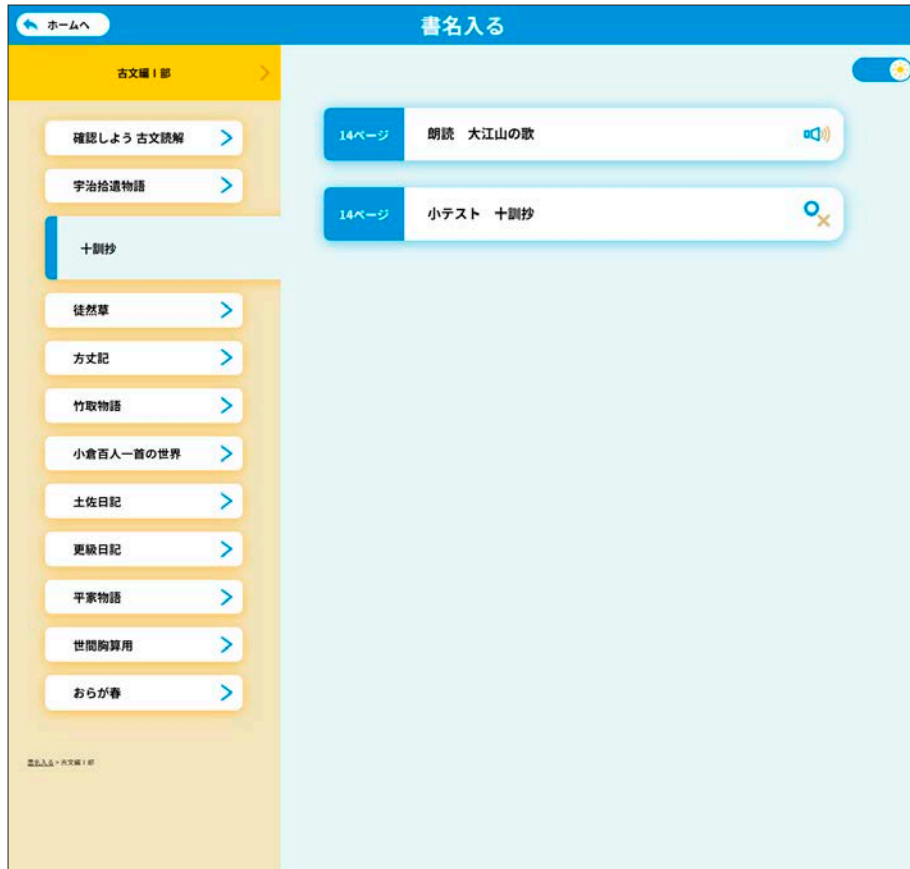


コンテンツ一覧

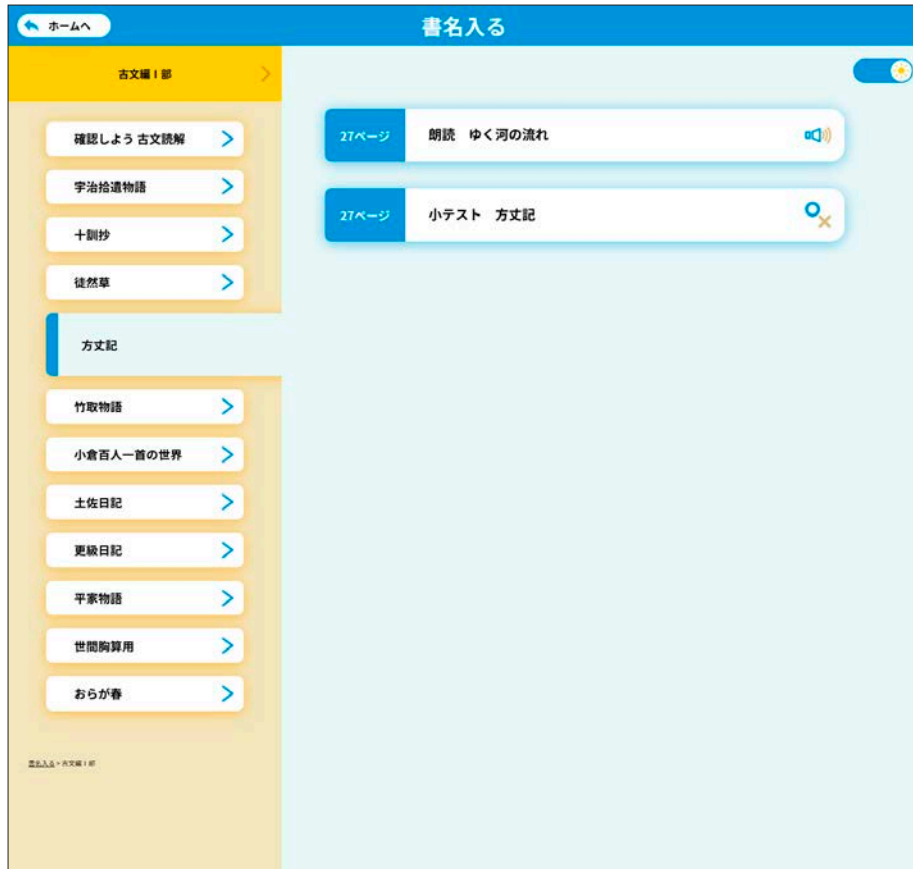


12ページ 小テスト 宇治拾遺物語「クイズ」

*全ての「小テスト [クイズ]」は同じ仕様であるため、以降のハイライト画面は割愛する。



The screenshot shows a web application interface for Japanese literature. At the top, there is a blue navigation bar with a home icon and the text "ホームへ" (Home) on the left, and "書名入力" (Enter Title) in the center. Below the navigation bar is a yellow sidebar with the heading "古文庫 | 部" (Classical Library | Department). The sidebar contains a list of titles, each with a right-pointing arrow: "確認しよう 古文読解", "宇治拾遺物語", "十訓抄", "徒然草" (highlighted in blue), "方丈記", "竹取物語", "小倉百人一首の世界", "土佐日記", "更級日記", "平家物語", "世間胸算用", and "おらが春". At the bottom left of the sidebar, there is a small text "古文庫 | 部". To the right of the sidebar is a search bar with a blue background and a white border. It contains the text "18ページ 小テスト 徒然草" and a clear button (X) on the right. The main content area is a light blue gradient.



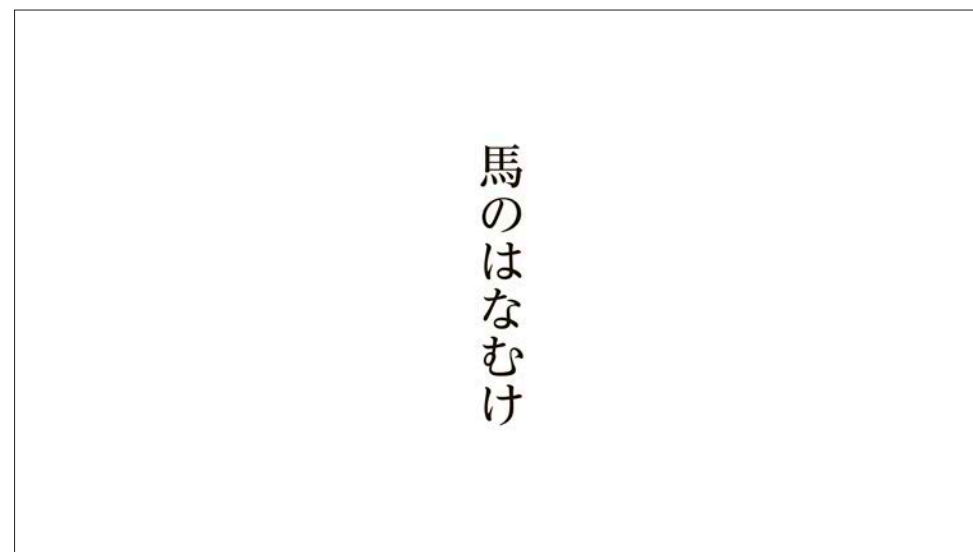


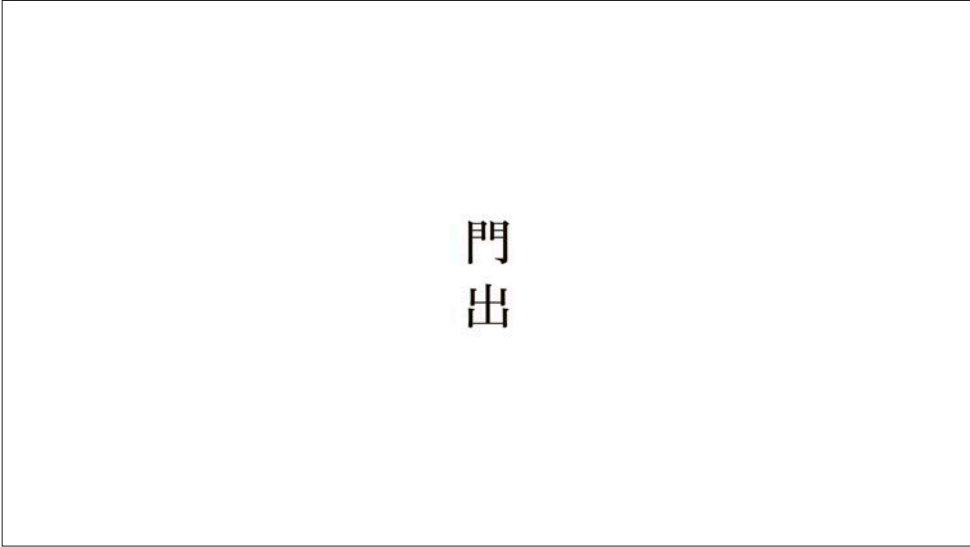
30ページ 朗読 なよたけのかぐや姫「音声」



30ページ 資料映像 竹取物語「動画」

The screenshot shows a web application interface for a digital library. At the top, there is a blue navigation bar with a home icon and the text 'ホームへ' on the left, and the title '書名入る' in the center. Below the navigation bar is a yellow sidebar menu with the heading '古文庫 | 部' and a right-pointing arrow. The sidebar contains several menu items, each with a right-pointing arrow: '確認しよう 古文読解', '宇治拾遺物語', '十訓抄', '徒然草', '方丈記', '竹取物語', '小倉百人一首の世界' (highlighted with a blue bar), '土佐日記', '更級日記', '平家物語', '世間胸算用', and 'おらが春'. At the bottom left of the sidebar, there is a small text link: '書名入る・古文庫 | 部'. The main content area is light blue and features a search bar at the top with the text '38ページ 小テスト 小倉百人一首の世界' and a search icon on the right. A blue toggle switch is located in the top right corner of the main area.







64ページ 朗読 壇の浦の合戦 [音声]



64ページ 資料映像 平家物語 [映像]

The screenshot shows a mobile application interface for entering Japanese text. At the top, there is a blue header with a home icon and the text "ホームへ" (Home) on the left, and "書名入力" (Book Name Input) in the center. Below the header is a yellow sidebar menu with the title "古文庫 | 部" (Classical Library | Department). The menu items include: "確認しよう 古文読解" (Check! Classical Reading Comprehension), "宇治拾遺物語" (Uji Shūi Monogatari), "十訓抄" (Jūkun Shō), "徒然草" (Tsurezuregusa), "方丈記" (Hōjōki), "竹取物語" (Taketori Monogatari), "小倉百人一首の世界" (The World of the Hundred Poets of Murakami), "土佐日記" (Tosha Nikki), "更級日記" (Mikurogi Nikki), "平家物語" (Heike Monogatari), "世間胸算用" (Seikai Mōsan'yō), and "おらが春" (Ora ga Haru). The "世間胸算用" item is currently selected, highlighted in blue. To the right of the sidebar, there is a search bar containing the text "74ページ 小テスト 世間胸算用" (74 pages Small Test Seikai Mōsan'yō) and a search icon. The main content area is a light blue gradient.

ホームへ 書名入力

古文庫 | 部

- 確認しよう古文読解 >
- 宇治拾遺物語 >
- 十訓抄 >
- 徒然草 >
- 方丈記 >
- 竹取物語 >
- 小倉百人一首の世界 >
- 土佐日記 >
- 更級日記 >
- 平家物語 >
- 世間胸算用 >
- おらが春**

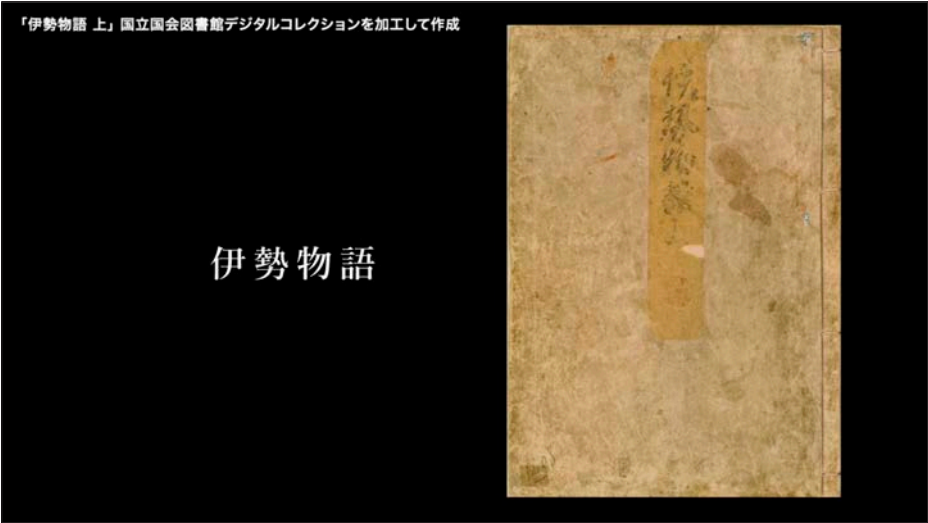
77ページ 小テスト おらが春

書名入力・古文庫 | 部

The screenshot shows a digital library interface with a blue header bar containing 'ホームへ' (Home) and '書名入る' (Search by title). Below the header is a yellow navigation bar labeled '古文庫II部'. A search bar on the right contains the text '小テスト 枕草子' and a magnifying glass icon. A list of categories is displayed on the left side, with '枕草子' selected. The categories include: 伊勢物語, 大和物語, 大鏡, 袋草紙, 無名抄, 古今和歌集仮名序, 源氏物語, 近世俳句抄, 去来抄, 三冊子, and 古事記. A small footer at the bottom left reads '書名入る・古文庫II部'.

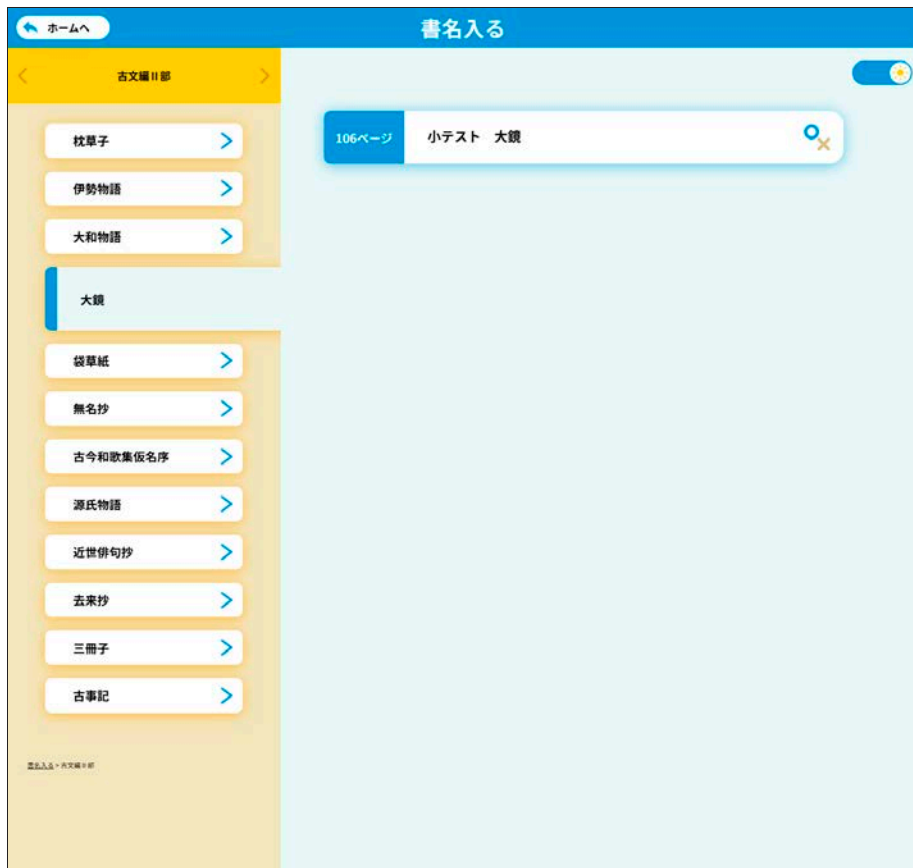


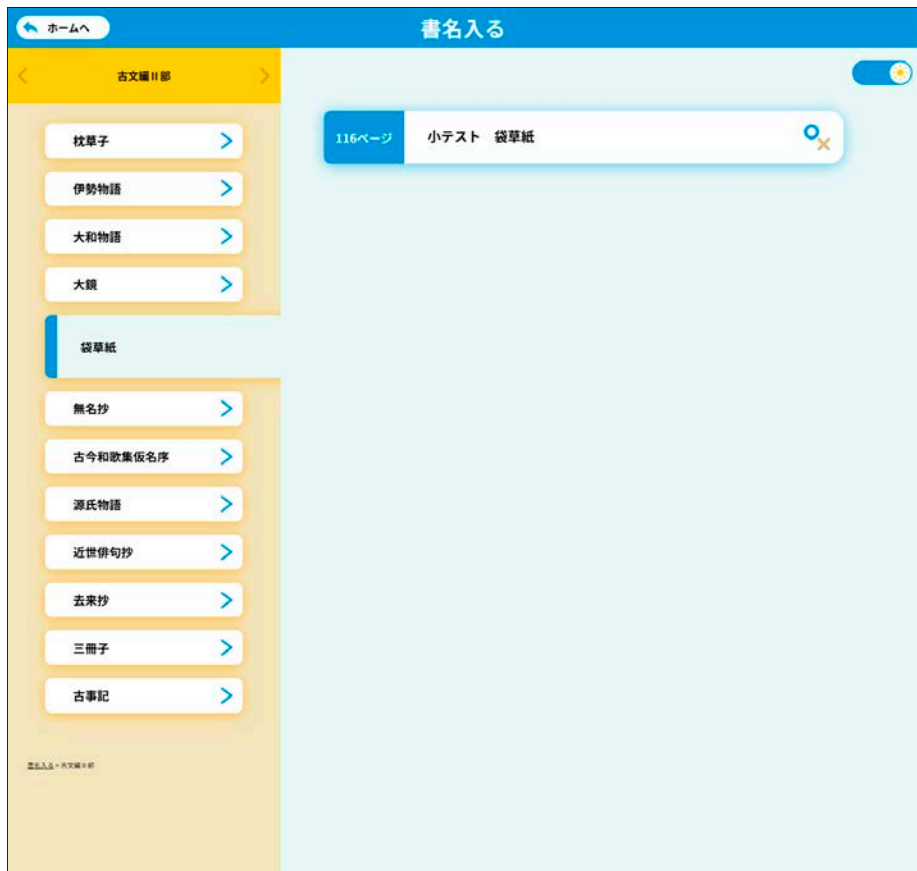
92ページ 朗読 初冠 [音声]

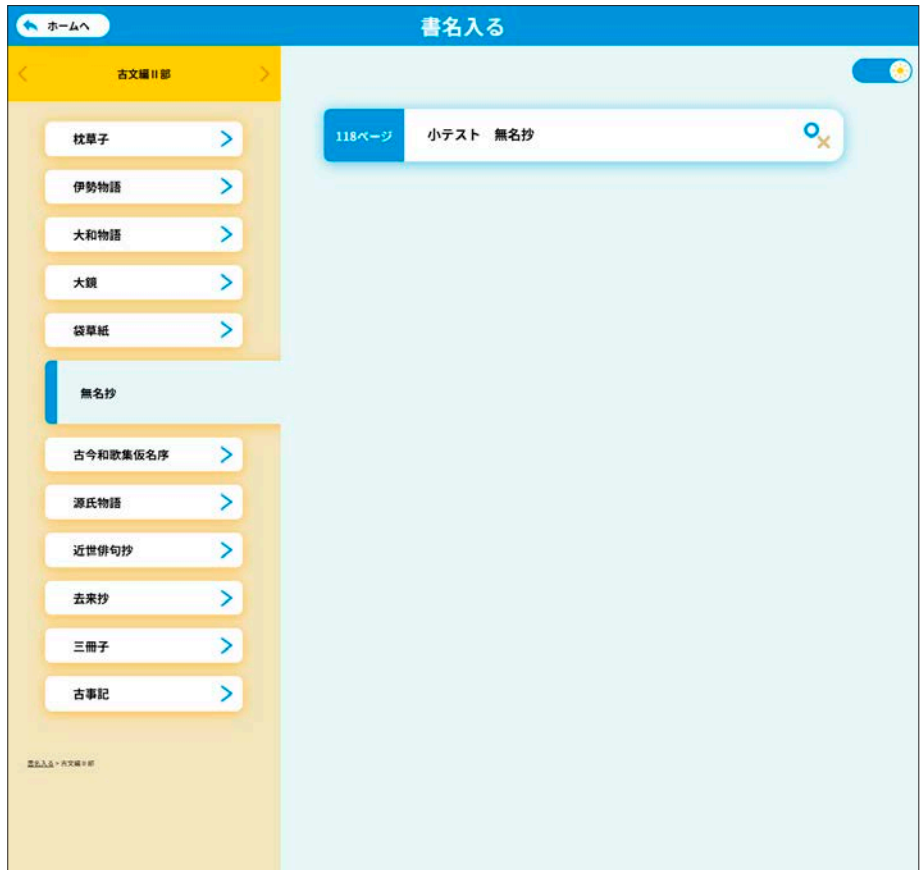


92ページ 資料映像 伊勢物語 [動画]

The screenshot shows a mobile application interface for entering Japanese text. At the top, there is a blue header bar with a home icon and the text "ホームへ" on the left, and "書名入力" in the center. Below the header, a yellow sidebar menu is titled "古文庫II部" and contains a list of text categories: 枕草子, 伊勢物語, 大和物語 (highlighted in blue), 大鏡, 袋草紙, 無名抄, 古今和歌集仮名序, 源氏物語, 近世俳句抄, 去来抄, 三冊子, and 古事記. Each item has a right-pointing arrow. To the right of the sidebar is a search bar containing the text "101ページ 小テスト 大和物語" and a clear button (X). The main content area is currently empty. At the bottom left of the sidebar, there is a small text label "書名入力 - 古文庫II部".







ホームへ 書名入る

古文庫目録

- 枕草子
- 伊勢物語
- 大和物語
- 大鏡
- 袋草紙
- 無名抄

古今和歌集仮名序

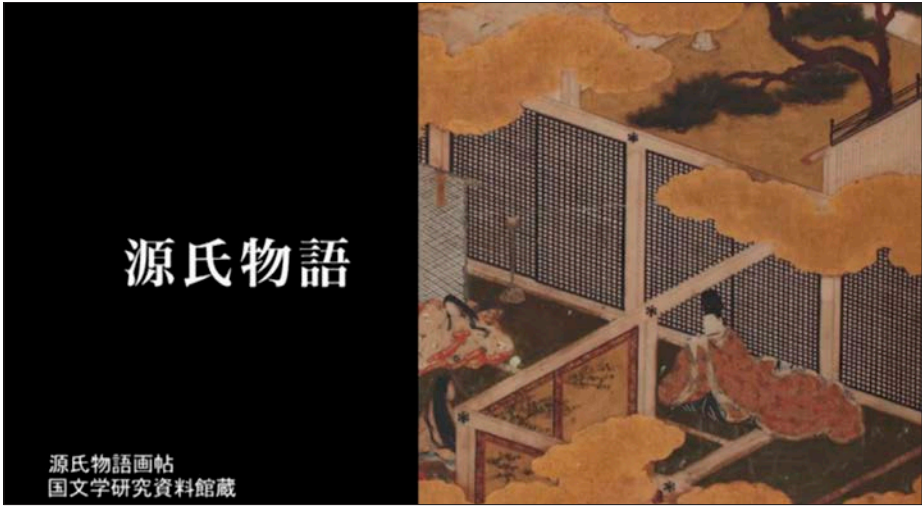
- 源氏物語
- 近世俳句抄
- 去来抄
- 三冊子
- 古事記

121ページ 小テスト 古今和歌集仮名序

古今和歌集・仮名序




124 ページ 朗読 光源氏の誕生「音声」



124 ページ 資料映像 源氏物語「動画」


『源氏物語』の登場人物

桐壺の帝




光源氏の父
桐壺の更衣を寵愛して光源氏をもつける。

桐壺の更衣




光源氏の母
桐壺の帝の寵愛を受けて光源氏を生む。

藤原の皇子




光源氏の皇子
藤原の帝の皇子の第一皇子が、母は光源氏と藤原の皇太子の皇子の子。

光源氏




第一部・第二部の主人公
行家と字子に生まれ、風流を解する理想的な貴公子。

夕霧




光源氏の皇子
母は藤原の上、幼なじみの藤原の藤と結婚する。元大納言。

藤原の宮




光源氏の藤原の女性
藤原の宮の女官に母から、光源氏の皇子に嫁されて入宮する。

葵の上




光源氏の正妻
藤原の下の光源氏と結婚するが、互いに打ち解けない。

若紫・紫の上




光源氏の妻の一人（藤原の家の御）
幼くして光源氏と知り合うが、光源氏に引き寄せられ、後に妻となる。字は藤原で光源氏から誕生大納言にされる藤原の女性として扱われる。字は藤原で光源氏から誕生大納言にされる藤原の女性として扱われる。

夕霧




光源氏の妻の一人
光源氏と互いに愛性を明かさず互いに愛慕を覚える。

六条の御息所




光源氏の妻の一人
結城深く、その生き響が愛の上や夕霧を苦しめる。

藤原の御侍




光源氏の妻の一人
光源氏が藤原を愛む。光源氏が光源氏、藤原の下は藤原の御侍となる。

明石の君




光源氏の妻の一人
藤原から明石に移った光源氏の御侍。藤原の御侍となる。明石の御侍を愛む。

女三の宮




光源氏の妻の一人
藤原の御侍の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

花散娘




光源氏の妻の一人
まためでたき御侍の御侍で、長く光源氏の御侍を受けける。

玉簪




夕霧の御侍
光源氏と互いに愛性を明かさず互いに愛慕を覚える。

空蝉




光源氏の妻の一人
光源氏が藤原を愛む。光源氏が藤原を愛む。光源氏が藤原を愛む。

末摘花




光源氏の妻の一人
光源氏と互いに愛性を明かさず互いに愛慕を覚える。

朝顔




光源氏の御侍
藤原の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

藤原の御侍




光源氏の妻の一人
藤原の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

宇治の大臣




光源氏の御侍の御侍
藤原の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

宇治の中の君




光源氏の御侍の御侍
藤原の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

浮舟




光源氏の御侍の御侍
藤原の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

藤原の御侍




光源氏の妻の一人
藤原の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

切宮



藤原の御侍の御侍
藤原の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

藤原の御侍



光源氏の妻の一人
藤原の御侍の御侍。光源氏を愛する。光源氏を苦しめる。藤原の御侍を愛む。

124 ページ 『源氏物語』の登場人物 「補足資料」

ホームへ

書名入る

古文庫II部

枕草子 >

伊勢物語 >

大和物語 >

大鏡 >

袋草紙 >

無名抄 >

古今和歌集仮名序 >

源氏物語 >

近世俳句抄

去来抄 >

三冊子 >

古事記 >

138ページ 小テスト 近世俳句抄

書名入る > 古文庫II部

ホームへ

書名入る

古文庫II部

枕草子 >

伊勢物語 >

大和物語 >

大鏡 >

袋草紙 >

無名抄 >

古今和歌集仮名序 >

源氏物語 >

近世俳句抄 >

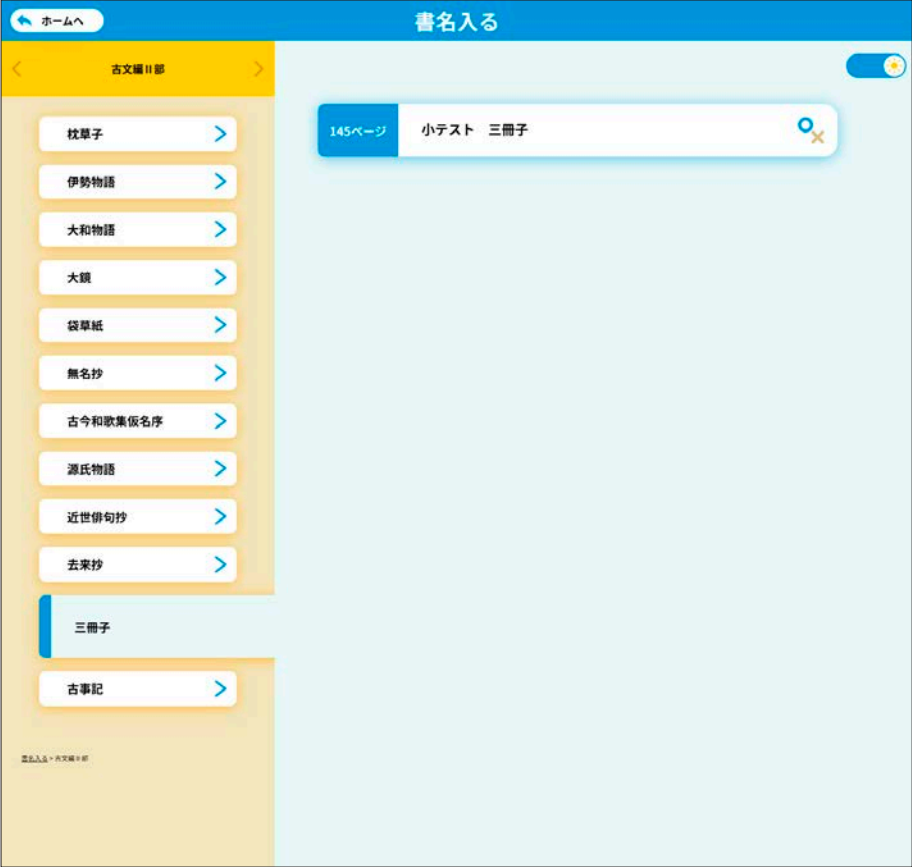
去来抄

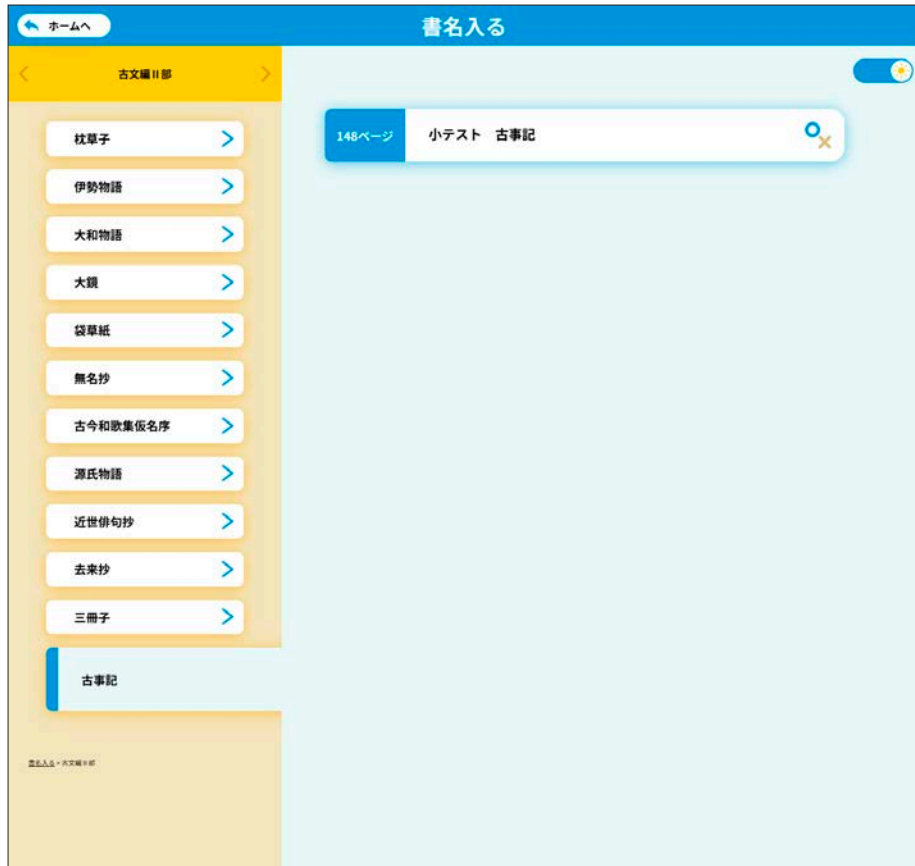
三冊子 >

古事記 >

143ページ 小テスト 去来抄

古今和歌集・古文庫II部







再読文字

(意)	蓋	須	宜	(由) 猶	(應) 当	且 符	未	字	再読文字の種類と用法
相手と促す表現。何不と同じ。	反語(こうし)……ないの	強い必要性(せひとも)……する必要がある	すべからず……終止形(ペン)	よろシク……終止形(ペン)	当然(当然……べきである)	まさニ……(終止形) (ト)	いまダ……(未然形) ず	意味	再読文字の種類と用法
	なんノ……(未然形) ギル			なホ……(ト) ギル	推量(推量……である)	否定(まだ……ない)		読み方	
				比較(よほど……)のようだ……	まさニ……(終止形) (ペン)	未承・將來(今にも……しようとする……)になるうとす		意味	

用例集

人生得意須臾^①尽^②歡^③

惟^①仁者^②宜^③在高^④位^⑤

過^①猶^②不及^③

君^①自^②故^③鄉^④來^⑤應^⑥知^⑦故^⑧鄉^⑨事^⑩

及^①時^②當^③勉^④勵^⑤歲^⑥月^⑦不^⑧待^⑨人^⑩

將^①限^②其^③食^④

未^①聞^②好^③學^④者^⑤也^⑥

156 ページ 再読文字 「補足資料」

書き下し文で平仮名にする字

助動詞										字	
(所・為)	見・被	可	也	為	不(弗)	教・遣	使・令・	如・若			字
らゝる	る	べし	なり	たり	ず	しむ	しむ	ごとし			読み
られ	れ	べから	べく	なら	たら	ざら	ず	しめ	未然形	活用形	
られ	れ	べかり	べく	に	なり	と	ざり	しめ	通用形		
らる	る	べし	なり	たり	たり	ず	しむ	しむ	終止形		
らる	る	べかる	べき	なる	たる	ざる	ぬ	しむる	連体形		
らる	る	べけれ	なれ	なれ	たれ	ざれ	ね	しむれ	已然形		
られよ	れよ	○	なれ	なれ	たれ	ざれ		しめよ	命令形		

※反語形で用いられる古い活用形

*薄字の活用形は、漢文訓読では使用されない。

助詞

与	自・從・由	也(乎)	者	而已矣	耳・已・爾	之	与	(矣・乎・与)	夫・哉	(与・歟・夫)	乎・也・哉・邪・耶	字
より	より	や	は	のみ	の	と	かな	(疑問・反語)	か・や			読み

156 ページ 書き下し文で平仮名にする字 「補足資料」



164ページ やってみよう 押韻「シミュレーション」



164ページ 朗読 静夜思〔音声〕

167 ページ 朗読 送元二使安西〔音声〕

送^ル元^{げん}二^じ使^し安^{あん}西^{せい} 王^{わう}維^ゐ

〔書き下し文・中国語〕

165 ページ 朗読 勸酒〔音声〕

勸^む酒^{しゆ} 于^う武^ぶ陵^{りやう}

〔書き下し文・中国語〕

168 ページ 朗読 登岳陽樓〔音声〕

登^ル岳^{えつ}陽^{やう}樓^{ろう} 杜^と甫^ほ

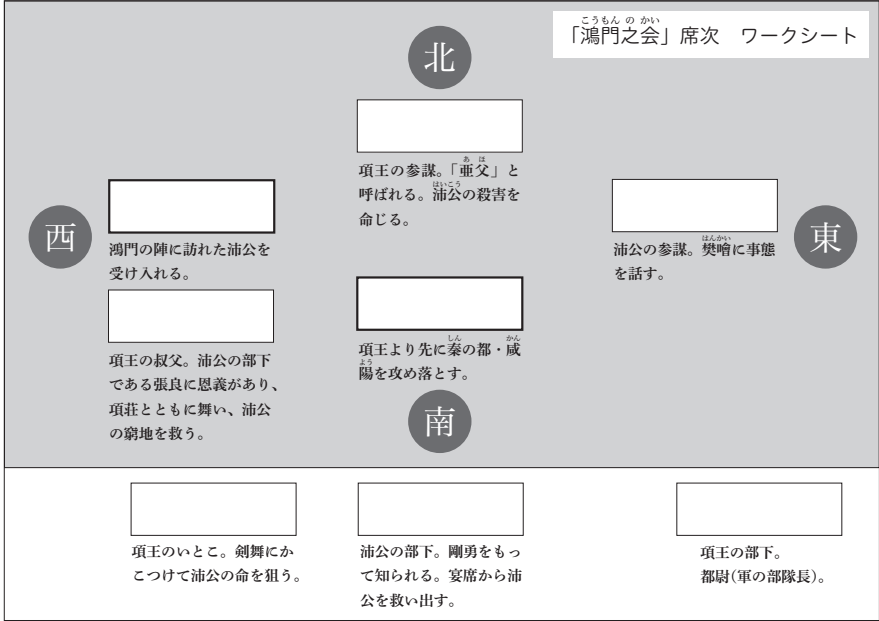
〔書き下し文・中国語〕

166 ページ 朗読 磧中作〔音声〕

磧^{せき}中^{ちゆう}作^{さく} 岑^{しん}参^{じん}

〔書き下し文・中国語〕





178ページ 鴻門之会 席次「ワークシート」



178ページ 資料映像 司馬遷と史記「動画」



もうし
孟子の
ライバル

荀子

じゅん し

名：況きやう

字：[未詳]

※荀国の公族の子孫のため「荀卿」「孫卿」とも呼ばれる。

戦国末期の生まれ

趙国出身しやうこく

性悪説

性悪説

孟子の「性善説」を否定した荀子は、人間は先天的に悪であり、「礼」に基づく後天的な教育によってこそ、善なる存在になりうると主張した。両者とも儒家に分類され、乱世の終息を目指す目的も同じだったが、人間存在の本質に対する捉え方が正反対だった。

学歴・職歴

前 278 頃	齊に行き「稷下の学」(孟子カード参照)に学ぶ。『史記』によれば、三度「稷下の学」の祭酒(学長)となった。
前 264 頃	齊を去って秦に遊説し、秦の政治家、応侯(范雎)と会談し、秦の欠点として儒者の不在を指摘。
前 255 頃	楚の政治家、春申君のもとに行き、蘭陵という土地の令(長官)となる。
前 238	春申君が暗殺され、荀子も令を免職される。

生涯について

- ・生没年も未詳だが、没年は前 238 年(春申君の暗殺)から遠くない時期と考えられる。
- ・齊への最初の遊学を 15 歳とすれば、稷下の学では長年にわたってさまざまな思想家の考え方に触れ、切磋琢磨したと考えられる。現存の『荀子』にある、広範な分野にわたる知識の獲得と、議論対象を圧倒的に論破しようとする論の進め方は、この稷下の学で練りあげられた。
- ・現存の『荀子』には、学問論、自然論、礼論、富国強兵論などがあり、彼の知識の広大さと論証力の確かさを示している。他の思想家に対する批判は、孔子の孫の子思や孟子にまで及ぶ。なかには荀子に非難されたおかげで歴史に名が残る思想家もあり、諸子百家のラストランナーとしての皮肉な功績を残した。

二人の弟子

後に始皇帝となる秦王政に法術思想を熱く語った韓非。始皇帝の宰相として帝国運営を支えた李斯。二人は荀子の弟子とされる(『史記』)。彼らは師の性悪説を継承したが、儒家の重んじた「礼」を捨て、絶対権力に基づく「法」のみを一律的に重視したのである。

198 ページ 荀子カード「補足資料」



206 ページ 「三国志」の英雄を語る 諸葛亮 [動画]



206 ページ 「三国志」の英雄を語る 劉備 [動画]



206 ページ 「三国志」人物相関図 [補足資料]





230ページ 朗読 長恨歌〔音声〕



250 ページ 孟子カード [補足資料]

孟子

孔子の後継者

名: 軻 (か) 字: 子輿 (しよ) 生没年未詳 魯国出身 ※魯の闕国

「孟母三遷」
孟子は幼い頃、墓場の近くに生んでおり、葬式のまねごとをして遊んでいた。母は環境が悪いと考えて転居を重ねた末、学校の近くに住居した。母の教育熱心さを伝える逸話。

「孟母断機」
孟子は青年期、留学していたが、中途で故郷に帰ってきた。母親は機織りの手を止め、織りかけの布を刀でぱりり切断した。驚き恐れた孟子に母は「途中で学問を投げ出すのはこれと同じことだ。」と説教し、孟子を発奮させた。子の学業不振を強烈な手法で戒めた逸話。

「孟母三遷」
孟子は幼い頃、墓場の近くに生んでおり、葬式のまねごとをして遊んでいた。母は環境が悪いと考えて転居を重ねた末、学校の近くに住居した。母の教育熱心さを伝える逸話。

「孟母断機」
孟子は青年期、留学していたが、中途で故郷に帰ってきた。母親は機織りの手を止め、織りかけの布を刀でぱりり切断した。驚き恐れた孟子に母は「途中で学問を投げ出すのはこれと同じことだ。」と説教し、孟子を発奮させた。子の学業不振を強烈な手法で戒めた逸話。

「孟母三遷」
孟子は幼い頃、墓場の近くに生んでおり、葬式のまねごとをして遊んでいた。母は環境が悪いと考えて転居を重ねた末、学校の近くに住居した。母の教育熱心さを伝える逸話。

「孟母断機」
孟子は青年期、留学していたが、中途で故郷に帰ってきた。母親は機織りの手を止め、織りかけの布を刀でぱりり切断した。驚き恐れた孟子に母は「途中で学問を投げ出すのはこれと同じことだ。」と説教し、孟子を発奮させた。子の学業不振を強烈な手法で戒めた逸話。

248 ページ 孔子カード [補足資料]

孔子

『論語』に伝わる聖人

名: 丘 (きゅう) 字: 仲尼 (ちゅうじ) 生没年未詳 魯国 昌平郷出身

「論語」
『論語』は孔子の言行録。弟子の質問に答えた言葉が中心。『春秋』の筆削も『論語』の思想と一致する。

「論語」
『論語』は孔子の言行録。弟子の質問に答えた言葉が中心。『春秋』の筆削も『論語』の思想と一致する。

「論語」
『論語』は孔子の言行録。弟子の質問に答えた言葉が中心。『春秋』の筆削も『論語』の思想と一致する。

「論語」
『論語』は孔子の言行録。弟子の質問に答えた言葉が中心。『春秋』の筆削も『論語』の思想と一致する。

248 ページ 孔子の弟子相関図 [補足資料]

孔子の弟子相関図 [補足資料]

孔子の門下で、特に優れた10人の弟子。『論語』に記述される孔子の門徒。

子貢 (31歳) 資財調達を得意とし、孔子学団を支えた。孔子 - 31歳

顔回 (30歳) 孔子に最も評価されたが、不幸にも夭折した。孔子 - 30歳

子路 (9歳) 心優しい武闘派。戦死し、孔子は悲嘆に暮れた。孔子 - 9歳

宰我 (1歳) 弁舌に優れるが、怠惰。孔子 - 1歳

仲弓 (29歳) 孔子が才能を高く評価。孔子 - 29歳

閔子騫 (15歳) 親孝行で知られる。孔子 - 15歳

冉伯牛 (1歳) 難病を患い、孔子が嘆いた。孔子 - 1歳

冉有 (29歳) 行政能力に長け、多芸。孔子 - 29歳

子游 (45歳) 形式を重んじ、礼と楽による民の教化を実践。孔子 - 45歳

子夏 (44歳) 形式を重んじ、荀子につながる儒学の礎を築いた。孔子 - 44歳

子張 (48歳) 孔子の死後、学派を形成した弟子の一人。孔子 - 48歳

子思 (46歳) 曾子の弟子。子思の弟子が孟子の師。孔子 - 46歳

曾参 (46歳) 『孝』を中心に孔子の教えを広めた。内面性を重視。孔子 - 46歳

有若 (43歳) 風貌が孔子に似ていたため、後継者に推された。孔子 - 43歳

256 ページ 莊子カード [補足資料]

莊子

真の自由人

姓: 莊 名: 周 字: 子休 生没年未詳 宋国 蒙出身

「老子」と「莊子」の「道」
『老子』と『莊子』はともに「道家」に分類されるが、語る「道」は微妙に異なる。「老子」は「道」を万物の根源として、その存在意義を主張する。「莊子」も「道」を万物の根源とするが、その認識の仕方に重点を置き、一切の価値的区別・差別が存在しない「万物斉同」こそが「道」であると説く。

「老子」と「莊子」の「道」
『老子』と『莊子』はともに「道家」に分類されるが、語る「道」は微妙に異なる。「老子」は「道」を万物の根源として、その存在意義を主張する。「莊子」も「道」を万物の根源とするが、その認識の仕方に重点を置き、一切の価値的区別・差別が存在しない「万物斉同」こそが「道」であると説く。

254 ページ 老子カード [補足資料]

老子

道家の祖

姓: 李 名: 耳 字: 聃 生没年未詳 楚国 苦県出身?

「老子」はベストセラー?
20世紀末から21世紀初頭にかけて、中国の出土資料の中から次々と「老子」が見つかった。これにより、「老子」は戦国時代後期にはすでに書物として出回っていたことが分かった。座右の書だったからこそ、故人といっしょに埋葬されたのであろう。当時から、ある程度多くの人々に親しまれていたと考えられる。

「老子」はベストセラー?
20世紀末から21世紀初頭にかけて、中国の出土資料の中から次々と「老子」が見つかった。これにより、「老子」は戦国時代後期にはすでに書物として出回っていたことが分かった。座右の書だったからこそ、故人といっしょに埋葬されたのであろう。当時から、ある程度多くの人々に親しまれていたと考えられる。

252 ページ 荀子カード [補足資料]

荀子

孟子のライバル

名: 況 字: [未詳] 生没年未詳 楚国 蘭陵出身

性悪説
孟子の「性善説」を否定した荀子は、人間は先天的に悪であり、「礼」に基づく後天的教育によってこそ、善なる存在になりうることを主張した。両者とも儒家に分類され、乱れの終息を目指す目的も同じだったが、人間存在の本質に対する捉え方が正反対だった。

性悪説
孟子の「性善説」を否定した荀子は、人間は先天的に悪であり、「礼」に基づく後天的教育によってこそ、善なる存在になりうることを主張した。両者とも儒家に分類され、乱れの終息を目指す目的も同じだったが、人間存在の本質に対する捉え方が正反対だった。



260ページ やってみよう 押韻「シミュレーション」



The screenshot shows a digital library interface. At the top, there is a blue header with a home icon and the text 'ホームへ' on the left, and '書名入る' in the center. Below the header is a yellow bar with a back arrow and the text '附録'. A search bar is positioned below the yellow bar, containing the text '272ページ 小テスト 小倉百人一首' and a search icon. To the left of the search bar is a sidebar menu with a yellow background, listing various study resources with right-pointing arrows: '小倉百人一首', '品詞分類表', '用言の活用', '助動詞活用表', '助詞一覧表', '敬語', '日本古典文学史年表', '漢文句法・重要語のまとめ', '中国文学史年表', and '古典参考図録'. At the bottom left of the sidebar, there is a small text '2022.12.15 更新'.

下に続く主な語	活用の種類		例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	あやし	遠し								
バズ										
ケリ										
言 <small>い</small> 切 <small>え</small>										
トキ										
バ <small>ド</small> モ										
言 <small>い</small> 守 <small>まも</small> す <small>え</small>										

281 ページ 形容詞活用表「シミュレーション」

形容詞活用表

下に続く主な語	活用の種類		例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	シク活用	ク活用								

281 ページ 形容詞活用表「ワークシート」

下に続く主な語	活用の種類		例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	麗々たり <small>るいゑたり</small>	清らなり								
バズ										
ケリ										
言 <small>い</small> 切 <small>え</small>										
トキ										
バ <small>ド</small> モ										
言 <small>い</small> 守 <small>まも</small> す <small>え</small>										

281 ページ 形容動詞活用表「シミュレーション」

形容動詞活用表

下に続く主な語	活用の種類		例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	タリ活用	ナリ活用								

281 ページ 形容動詞活用表「ワークシート」



助詞一覧表

格助詞										欄
へ	に	から	より	と	へ	に	を	の	が	助詞
										属格用法
										接格
接続助詞										欄
も	も	も	の	の	の	の	の	の	の	助詞
も	も	も	の	の	の	の	の	の	の	属格用法
も	も	も	の	の	の	の	の	の	の	接格

290
ページ
助詞一覧表「ワークシート」

The screenshot shows a mobile application interface for Japanese language learning. At the top, there is a blue header with a home button and the text '書名入る'. Below the header is a yellow sidebar menu labeled '附録' (Appendix) with a back arrow. The sidebar contains several menu items with right-pointing arrows: '小倉百人一首', '品詞分類表', '用言の活用', '助動詞活用表', '助詞一覧表', '敬語' (highlighted in blue), '日本古典文学史年表', '漢文句法・重要語のまとめ', '中国文学史年表', and '古典参考図録'. At the bottom left of the sidebar, there is a small text '2022.11.16 更新'. The main content area is light blue and features a search bar with the text '292ページ 小テスト 敬語' and a magnifying glass icon. A blue button with a plus sign is located in the top right corner of the main area.

ホームへ 書名入

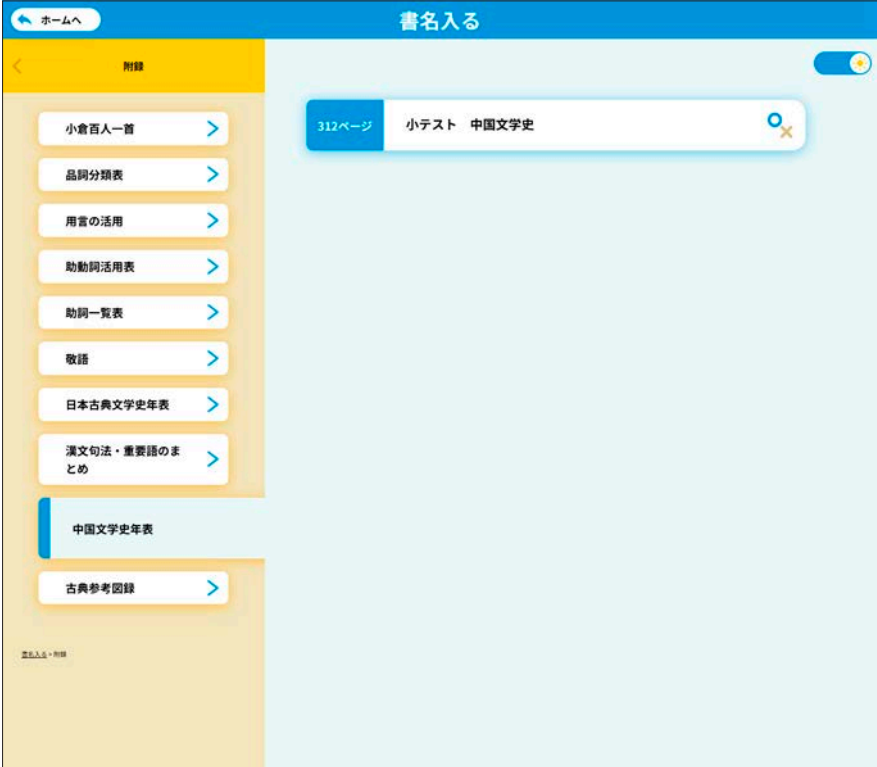
戻る 附録

- 小倉百人一首 >
- 品詞分類表 >
- 用言の活用 >
- 助動詞活用表 >
- 助詞一覧表 >
- 敬語 >
- 日本古典文学史年表
- 漢文句法・重要語のまとめ >
- 中国文学史年表 >
- 古典参考図録 >

302ページ 小テスト 日本古典文学史

漢文句法・重要語のまとめ





ホームへ 書名入

附録

- 小倉百人一首 >
- 品詞分類表 >
- 用言の活用 >
- 助動詞活用表 >
- 助詞一覧表 >
- 敬語 >
- 日本古典文学史年表 >
- 漢文句法・重要語のまとめ >
- 中国文学史年表 >

古典参考図録

巻末4 小テスト 古典参考図録